

多可町民の人権に関する意識調査

調査結果報告書

【本 編】



令和3年3月

多可町生涯学習課
人権啓発推進室

多可町住民憲章

平成 18 年4月1日制定

美しく豊かな自然に恵まれたわたしたちのまちは、長い歴史とよき伝統のなかで、個性ある文化や産業をはぐくみ、栄えてきました。

わたしたちは、ふるさと多可を愛し、お互いの理解とつながりを深め、みんなが主役のまちをめざして、ここに住民憲章を定めます。

わたしたちは

1. 健康で心豊かにくらし やすらぎのあるまちをつくります
1. みどりと清流を守り うるおいのあるまちをつくります
1. 働くことをよろこび 活力のあるまちをつくります
1. 学びを楽しみ 文化のかおり高いまちをつくります
1. いのちと人権を大切にし 心ふれあうまちをつくります

目次

I. 調査の概要

(1) 調査の目的と方法	1
① 調査の目的	1
② 調査対象と方法	1
③ 回収結果	1
④ 報告書記載上の留意点	1
(2) 回答者の属性	2
① 性別・年齢	2
② 職業	3

II. 調査結果

第1章 人権問題に関する一般的な意識

(1) 人権をどのくらい身近な問題と感じているか	4
(2) 今の日本は人権が尊重されている社会であると思うか	5
(3) 特に関心のある人権問題	6
(4) 人権侵害をしたことのある経験の有無	8
(5) 人権侵害を受けた経験の有無	9
(6) それは、どのような人権侵害でしたか	10
(7) 人権侵害を受けた時の対応	11

第2章 個別の人権問題に関する意識

(1) 女性の人権について	13
(2) 子どもの人権について	15
(3) 高齢者の人権について	17
(4) 障がいのある人の人権について	19
(5) 日本に居住する外国人の人権について	21
(6) 働く人の人権について	23
(7) 異性愛、同性愛などといった性的指向に関する人権について	24
(8) 性同一性障害者の人権について	26
(9) インターネットを悪用した人権侵害について	28

第3章 同和問題に関する意識

(1) 多可町部落差別解消推進条例の施行について	30
(2) 部落差別（同和問題）を受けている地区があることを、はじめて知った時期	31
(3) 部落差別（同和問題）をはじめて知ったきっかけ	32
(4) 部落差別（同和問題）に関して、今、起きている人権問題	34
(5) 部落差別（同和問題）が生じる原因や背景として思い当たるもの	36
(6) 結婚相手が「同和地区」の人であった場合の行動	38

- (7) 子どもの結婚相手が「同和地区」の人の場合の行動 40
- (8) 部落差別（同和問題）の解決のために特に重要であると思われるもの 42

第4章 今後の人権教育・啓発のあり方に関する意識

- (1) 人権についての考え方 44
 - ① 人権講演会や研修会に参加することで、人権尊重の意識は強まる 44
 - ② 競争社会だから能力による格差が生じるのは仕方がない 45
 - ③ 家庭等で幼い頃からものごとの善悪や決まり事の大切さを教えることが重要だ . 46
 - ④ 学校で、いじめや差別をなくす人権教育を進めれば人権問題は解決する . . . 47
 - ⑤ 個人の権利より、地域のみんなの利益が優先されるべきだ 48
 - ⑥ みんなが、思いやりや優しさを持てば人権問題は解決する 49
 - ⑦ 自分の権利ばかり主張して、他人の権利を尊重しない人が増えている 50
 - ⑧ 部落差別（同和問題）は、口に出さないでそっとしていれば自然になくなる . 51
 - ⑨ 外国人も日本人と同じように人権は守られるべきだ 52
 - ⑩ 本人通知制度は人権を守る手段として有効で登録を啓発すべきだ 53
- (2) 人権尊重の考え方に強い影響を与えたもの 54
- (3) 各種啓発事業や行事への参加について 55
 - ① 人権啓発協議会の総会 55
 - ② 8月多可町民の集い 55
 - ③ 12月多可町民の集い 56
 - ④ 各集落の住民学習会 57
 - ⑤ 多可町隣保館講座への参加 57
 - ⑥ 人権標語への応募 58
- (4) 効果的な人権啓発活動として重点的に取り組むべきもの 59

I. 調査の概要

(1) 調査の目的と方法

① 調査の目的

多可町民の人権意識の普及、高揚を図り、一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりを進めるため、人権に関する意識調査を実施することにより、その実態を明らかにし、今後の多可町における人権教育や人権啓発など人権施策を推進するための基礎資料として活用する。

② 調査対象と方法

令和2年11月1日現在、町内在住の満18歳以上の住民から年齢階層別に無作為に2,000人を抽出し、調査票を郵送配布し、郵送回収、無記名での本人記入方式により実施した。

③ 回収結果

送付数 2,000、 回収数 882、 回収率 44.1%

④ 報告書記載上の留意点

- ・ 報告書では、主に単純集計及び性別・年齢別との関係について図表で示しながら説明し、必要に応じて他の設問とのクロス集計についても説明している。
- ・ 類似の設問がある場合には、平成30年度に兵庫県で実施された「人権に関する県民意識調査」結果（以下「兵庫県人権意識調査」という）との比較を行っている。
- ・ 図表中の「n」とは、集計対象者実数（あるいは該当者対象実数）のことである。
- ・ 図表中の「回答者数」とは、「無回答等」を含めて回答のあった実人数である。回答選択肢ごとの数値は各質問の回答者数を基数とした百分率（回答率：単位％）で示している。この回答率は、すべて小数点以下第2位を四捨五入して表示した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
- ・ 1つの設問に対し複数回答を可とした設問では、比率の合計が100%を超える。
- ・ 「○は1つだけ」の設問で2つ以上の回答があった場合は「無回答等」とした。
- ・ 報告書での質問項目および回答選択肢の項目は、調査票で使用したものを簡略化して記載している。
- ・ 各設問の「その他」欄に記入された回答及び自由記述欄に寄せられた意見については、紙面の都合上一部要約し抜粋したものをⅡ調査結果第5章に掲載している。
- ・ 標本誤差については以下のとおりである。

本調査は標本調査であるため、統計上の誤差「標本誤差」が生じる。この標本誤差は、有効回答数と得られた結果の比率によって異なるが、信頼度95%における誤差は表1のとおりである。

例えば、500人の回答者がいる場合に、Aという選択肢を選んだ回答者が20%だったとすると、標本誤差は±3.6であるので、誤差を考慮した場合、この種の調査を100回やれば95回までは、この回答率は16.4%～23.6%の間に入るだろうと推定できるということになる。

表1 信頼度95%における信頼区間の1/2幅早見表

p(%) n	5 または 95	10 または 90	15 または 85	20 または 80	25 または 75	30 または 70	35 または 65	40 または 60	45 または 55	50
800	±1.5	±2.1	±2.5	±2.8	±3.1	±3.2	±3.4	±3.5	±3.5	±3.5
700	±1.6	±2.3	±2.7	±3.0	±3.3	±3.5	±3.6	±3.7	±3.8	±3.8
600	±1.8	±2.4	±2.9	±3.3	±3.5	±3.7	±3.9	±4.0	±4.1	±4.1
500	±1.9	±2.7	±3.2	±3.6	±3.9	±4.1	±4.3	±4.4	±4.4	±4.5
300	±2.5	±3.5	±4.1	±4.6	±5.0	±5.3	±5.5	±5.7	±5.7	±5.8
200	±3.1	±4.2	±5.0	±5.7	±6.1	±6.5	±6.7	±6.9	±7.0	±7.1
100	±4.4	±6.0	±7.1	±8.0	±8.7	±9.2	±9.5	±9.8	±9.9	±10.0
50	±6.2	±8.5	±10.1	±11.3	±12.2	±13.0	±13.5	±13.9	±14.1	±14.1

なお、標本誤差については、次の式を用いて算出した。(信頼度95%の場合)

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{p(1-p)}{n}}$$

数式中の、 N は母集団数、 n は有効回答者数、 p は回答率を表している。また $\frac{N-n}{N-1} = 1$ として計算している。

(2) 回答者の属性

① 性別・年齢

表2 (問1、問2) 性別の回答者数と性別・年齢別の回答者の比率

	送付数	比率	18～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上	無回答等
男性	968	43.8	8.0	4.4	11.7	12.4	21.0	26.4	16.1	-
女性	1,032	54.2	7.1	7.1	10.5	17.8	22.0	22.8	12.3	0.4
答えたくない		0.9	12.5	-	12.5	37.5	-	25.0	12.5	-
無回答		1.1	-	-	-	-	-	-	40.0	60.0
合計	2,000	100.0	7.5	5.8	10.9	15.4	21.1	24.1	14.3	0.9

回答者の性別は、女性が54.2%と男性(43.8%)よりも10.4ポイント高くなっている。回答者の年齢は、70～79歳が24.1%で最も高く、次いで60～69歳(21.1%)の順となっており、50歳未満の青壮年層の割合が低くなっている。

なお、性別の送付数と性別・年齢別の回収率は次のとおりである。

表3 性別の送付数と性別・年齢別の回収率

	送付数	18～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上	合計
男性	968	26.5	18.7	34.1	33.1	49.7	58.6	42.5	40.0
女性	1,032	27.4	35.1	35.5	55.2	60.3	58.6	37.8	46.2
合計	2,000	27.4	27.1	35.2	45.5	55.2	59.2	41.7	44.1

回収率は、70～79歳が59.2%で最も高く、次いで60～69歳(55.2%)、50～59歳(45.5%)、80歳以上(41.7%)の順となっており、50歳未満の青壮年層の割合が低くなっている。

② 職業

表4 (問3) 回答者の職業

属性		回答者数	農林漁業者	自営業	会社員・団体職員	公務員	その他の有職者	家事専業	学生	職業についていない	無回答等
全体		882	2.6	11.1	25.7	8.3	5.4	17.0	2.9	23.9	2.9
性別	男性	386	5.7	14.8	33.7	6.0	3.4	1.0	2.6	31.6	1.3
	女性	478	0.2	8.4	19.9	10.5	7.3	30.1	3.1	17.4	3.1
	答えたくない	8	-	12.5	25.0	-	-	25.0	12.5	25.0	0.0
	無回答等	10	-	-	-	-	-	-	-	40.0	60.0
年齢別	18～29歳	66	-	4.5	43.9	7.6	1.5	-	37.9	3.0	1.5
	30～39歳	51	-	3.9	47.1	27.5	3.9	9.8	2.0	2.0	3.9
	40～49歳	96	1.0	11.5	51.0	17.7	7.3	6.3	-	4.2	1.0
	50～59歳	136	-	14.7	49.3	17.6	8.1	6.6	-	3.7	0.0
	60～69歳	186	2.2	14.0	26.3	5.9	8.6	24.2	-	15.6	3.2
	70～79歳	213	6.1	14.1	3.8	0.9	4.7	31.0	-	38.0	1.4
	80歳以上	126	4.0	4.8	0.8	-	0.8	15.1	-	69.0	5.6
	無回答等	8	-	-	-	-	-	-	-	25.0	75.0

回答者の職業は、「会社員・団体職員」が25.7%で最も高く、次いで「職業についていない」(23.9%)の順となっており、「家事専業」が17.0%となっている。

なお性別で見ると、「職業についていない」の割合は、男性が女性より14.2ポイント高くなっているのに対し、「家事専業」の割合は女性(30.1%)が圧倒的に高い。また、「会社員・団体職員」も、男性が女性より13.8ポイント高くなっている。

II. 調査結果

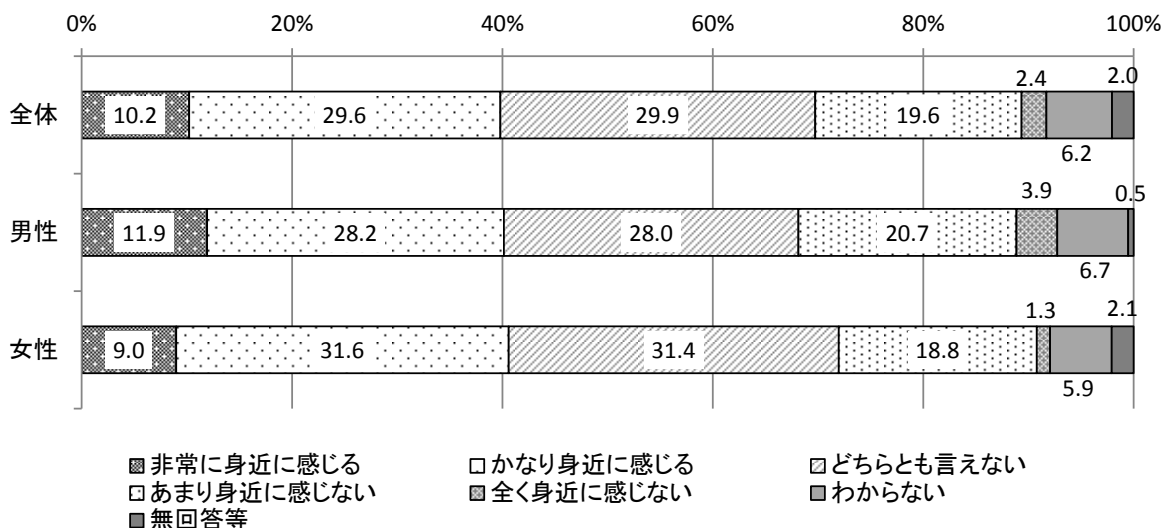
第1章 人権問題に関する一般的な意識

(1) 人権をどのくらい身近な問題と感じているか

表5 (問4) 人権をどのくらい身近な問題として感じていますか

属性		回答者数	非常に身近に感じる	かなり身近に感じる	どちらとも言えない	あまり身近に感じる	全く身近に感じない	わからない	無回答等
全体		882	10.2	29.6	29.9	19.6	2.4	6.2	2.0
性別	男性	386	11.9	28.2	28.0	20.7	3.9	6.7	0.5
	女性	478	9.0	31.6	31.4	18.8	1.3	5.9	2.1
	答えたくない	8	12.5	-	50.0	25.0	-	12.5	-
	無回答等	10	-	10.0	20.0	10.0	-	-	60.0
年齢別	18～29歳	66	6.1	25.8	33.3	22.7	-	12.1	-
	30～39歳	51	7.8	23.5	41.2	17.6	5.9	2.0	2.0
	40～49歳	96	10.4	29.2	37.5	18.8	2.1	1.0	1.0
	50～59歳	136	10.3	26.5	37.5	16.2	2.2	5.1	2.2
	60～69歳	186	10.8	29.6	30.1	22.6	3.2	3.8	-
	70～79歳	213	9.9	35.7	24.9	20.2	1.4	6.6	1.4
	80歳以上	126	13.5	28.6	18.3	19.0	3.2	13.5	4.0
	無回答等	8	-	12.5	25.0	-	-	-	62.5

図1 (問4) 人権をどのくらい身近な問題として感じていますか (性別)



「人権」をどのくらい身近な問題として感じているかをみると、『身近に感じる (計)』(「非常に身近に感じる」と「かなり身近に感じる」を合わせた割合。以下同様) が 39.8%と『身近に感じない (計)』(「全く身近に感じない」と「あまり身近に感じない」を合わせた割合。以下同様) (22.0%) を上回っており、「どちらとも言えない」が 29.9%となっている。

性別でみると、『身近に感じる（計）』は男性が40.1%で、女性（40.6%）とほぼ同率となっている。

年齢別でみると、『身近に感じる（計）』は70～79歳が45.6%で最も高く、次いで80歳以上（42.1%）の順となっており、30～39歳が31.3%で最も低い。

【兵庫県人権意識調査との比較】

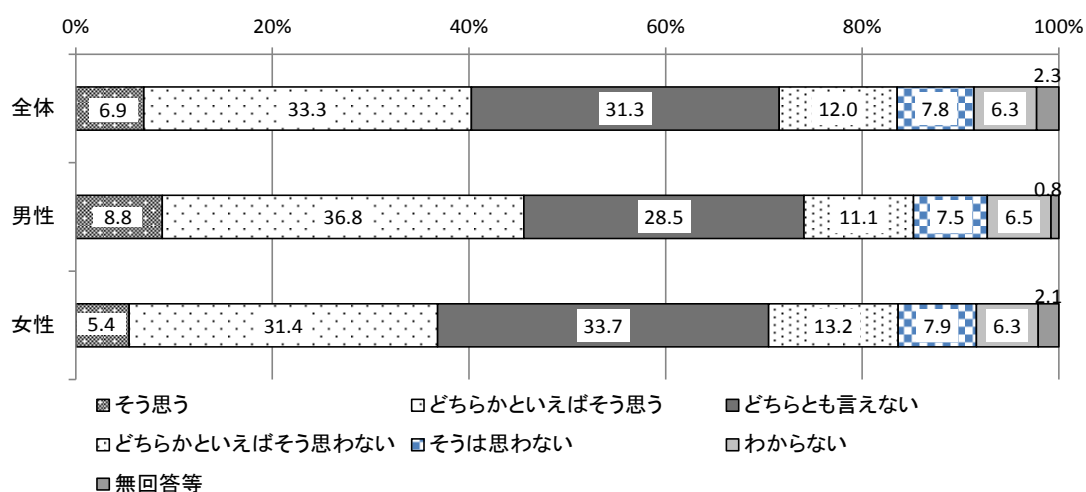
『身近に感じる（計）』の割合が県では41.3%と、本町より1.5ポイント高く、『身近に感じない（計）』が県では、25.8%と本町より3.8ポイント高くなっているが、ほぼ同傾向である。

(2) 今の日本は人権が尊重されている社会であると思うか

表6 （問5）今の日本は人権が尊重されている社会であると思いますか

属性		回答者数	そう思う	えどばち そら うか 思と うい	えど なち いら とも 言	なえど いばち そら うか 思と わい	いそ う は 思わ な	わ か ら な い	無 回 答 等
全体		882	6.9	33.3	31.3	12.0	7.8	6.3	2.3
性別	男性	386	8.8	36.8	28.5	11.1	7.5	6.5	0.8
	女性	478	5.4	31.4	33.7	13.2	7.9	6.3	2.1
	答えたくない	8	12.5	-	50.0	-	25.0	12.5	-
	無回答等	10	-	20.0	10.0	-	-	-	70.0
年齢別	18～29歳	66	6.1	30.3	28.8	15.2	7.6	12.1	-
	30～39歳	51	5.9	13.7	54.9	15.7	3.9	5.9	-
	40～49歳	96	4.2	37.5	27.1	16.7	7.3	6.3	1.0
	50～59歳	136	5.9	31.6	34.6	17.6	7.4	1.5	1.5
	60～69歳	186	5.9	37.1	32.3	12.9	7.0	3.2	1.6
	70～79歳	213	8.9	36.2	31.0	8.9	7.0	6.1	1.9
	80歳以上	126	9.5	32.5	23.0	4.0	13.5	14.3	3.2
	無回答等	8	-	12.5	12.5	-	-	-	75.0

図2 （問5）今の日本は人権が尊重されている社会であると思いますか（性別）



「今の日本は人権が尊重されている社会であると思うか」については『そう思う（計）』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合。以下同様）が40.2%と『そうは思わない（計）』（「そうは思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた割合。以下同様）（19.8%）を上回っており、「どちらとも言えない」が31.3%となっている。

性別でみると、『そう思う（計）』は男性が45.6%と女性（36.8%）よりも8.8ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『そう思う（計）』は70～79歳が45.1%で最も高く、次いで60～69歳（43.0%）の順で、30～39歳が19.6%で最も低い。

【兵庫県人権意識調査との比較】

「今の日本は人権が尊重されている社会であると思うか」については、『そう思う（計）』の割合が本町では40.2%と県より11.8ポイント低く、『そうは思わない（計）』の割合が本町では19.8%と、県と同ポイントとなっている。

(3) 特に関心のある人権問題

表7-1 （問6）特に関心があることは次のどれですか（○は5つまで）

属性		回答者数	女性に関する問題	子どもに関する問題	高齢者に関する問題	障害者に関する問題	部落差別の問題	アイヌの民族問題	在日外国人に関する問題	エイズに関する問題等
全体		882	28.5	28.8	29.5	43.3	22.4	0.6	12.5	2.9
性別	男性	386	18.9	27.2	27.7	44.6	29.3	1.0	15.3	3.1
	女性	478	36.4	30.5	31.0	43.5	17.8	0.2	10.7	2.9
	答えたくない	8	25.0	25.0	25.0	12.5	-	-	-	-
	無回答等	10	20.0	10.0	30.0	10.0	-	-	-	-
年齢別	18～29歳	66	25.8	19.7	9.1	37.9	12.1	-	9.1	1.5
	30～39歳	51	35.3	51.0	23.5	43.1	15.7	-	9.8	2.0
	40～49歳	96	31.3	35.4	14.6	46.9	20.8	-	13.5	1.0
	50～59歳	136	36.8	33.1	17.6	47.8	21.3	-	12.5	3.7
	60～69歳	186	28.0	32.8	29.6	48.9	25.3	1.6	17.7	2.7
	70～79歳	213	28.6	23.9	43.2	46.5	25.8	0.5	11.3	3.8
	80歳以上	126	18.3	18.3	45.2	27.8	24.6	0.8	9.5	4.0
	無回答等	8	-	12.5	-	-	-	-	-	-

表7-2 (問6) 特に関心があることは次のどれですか (〇は5つまで)

属性		回答者数	問題者等に 関する患	ハンセン病 に関する患	スルウェー に関する患	コロナウイ ルスに関する 問題	出所した人 に関する問題	刑期を終え た人に関する 問題	犯罪被害者 に関する問題	侵害による 人権問題	インターネット に関する問題	問題者に 関する被 害者に関する 問題	北朝鮮に 関する被 害者に関する 問題	人に 関する 問題	ホームレス に関する 問題	侵害 に関する 問題	性的指向 に関する 問題
全体		882	2.2	52.8	7.3	8.4	34.8	13.3	4.3	6.2							
性別	男性	386	2.3	47.7	8.0	7.0	34.5	12.7	4.9	4.4							
	女性	478	2.1	57.7	6.9	9.8	36.0	14.0	4.0	7.7							
	答えたくない	8	-	50.0	-	-	25.0	12.5	-	12.5							
	無回答等	10	-	20.0	-	-	-	-	-	-							
年齢別	18～29歳	66	-	54.5	7.6	9.1	47.0	6.1	7.6	25.8							
	30～39歳	51	-	60.8	2.0	7.8	39.2	3.9	2.0	11.8							
	40～49歳	96	-	66.7	10.4	9.4	58.3	3.1	2.1	6.3							
	50～59歳	136	2.9	63.2	4.4	8.1	40.4	8.1	2.9	5.1							
	60～69歳	186	3.8	54.8	8.6	12.4	40.9	17.2	7.0	7.0							
	70～79歳	213	0.9	46.9	7.0	5.6	24.4	19.7	4.2	2.3							
	80歳以上	126	4.8	36.5	8.7	7.1	12.7	18.3	3.2	0.8							
	無回答等	8	-	12.5	-	-	12.5	-	-	-							

属性		回答者数	性同一性 に関する障 がいが	東日本大 震災に関 する問題	働く人の 権利問題	その他 の問題	特 に な い	無 回 答 等
全体		882	7.3	8.7	22.4	1.6	5.3	2.2
性別	男性	386	4.9	8.8	23.1	2.1	6.2	1.0
	女性	478	9.2	8.6	22.0	1.3	4.6	1.7
	答えたくない	8	12.5	12.5	50.0	-	12.5	-
	無回答等	10	-	10.0	-	-	-	70.0
年齢別	18～29歳	66	31.8	3.0	24.2	-	4.5	1.5
	30～39歳	51	7.8	2.0	25.5	2.0	2.0	-
	40～49歳	96	7.3	4.2	26.0	2.1	2.1	-
	50～59歳	136	11.8	7.4	22.8	1.5	0.7	1.5
	60～69歳	186	3.8	9.7	25.3	1.1	4.3	-
	70～79歳	213	4.2	12.7	20.2	2.3	6.1	2.3
	80歳以上	126	-	11.9	16.7	1.6	15.1	4.0
	無回答等	8	-	-	25.0	-	-	75.0

特に関心のある人権問題をみると、「コロナウイルス感染者等に関する問題」の割合が 52.8%で最も高く、以下「障がい者に関する問題」(43.3%)、「インターネットに関する問題」(34.8%)、「高齢者に関する問題」(29.5%)、「子どもに関する問題」(28.8%)、「女性に関する問題」(28.5%)の順となっている。

性別でみると、「女性に関する問題」の割合と「コロナウイルス感染者等に関する問題」の割合は、女性が男性よりも 17.5 ポイントと 10.0 ポイントそれぞれ高くなっている。また、「部落差別の問題」の割合は男性が女性よりも 11.5 ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「コロナウイルス感染者等に関する問題」は、すべての年齢層で

高い。「子どもに関する問題」の割合は概ね 30～39 歳で高くなっているのに対し、「高齢者に関する問題」の割合は概ね 60 歳以上で高くなっている。

【兵庫県人権意識調査との比較】

本町の調査では、「働く人の権利に関する問題」の割合が 22.4%と、県より 17.4 ポイント低く、「高齢者の人権に関する問題」の割合が本町では 29.5 ポイントと、県より 10.7 ポイント、「女性の人権に関する問題」の割合が本町では、28.5 ポイントと、県より 9.6 ポイント、それぞれ低くなっている。

(4) 人権侵害をしたことのある経験の有無

表 8 (問 7) 今までに、人権侵害をしたことがあると思えますか

属性		回答者数	ないと思う	あるかもしれない	あると思う	わからない	無回答等
全体		882	29.8	50.8	7.1	10.9	1.4
性別	男性	386	28.8	52.6	8.0	10.1	0.5
	女性	478	31.0	49.8	6.7	11.1	1.5
	答えたくない	8	25.0	37.5	-	37.5	-
	無回答等	10	20.0	40.0	-	10.0	30.0
年齢別	18～29歳	66	24.2	54.5	9.1	12.1	-
	30～39歳	51	19.6	47.1	17.6	15.7	-
	40～49歳	96	24.0	53.1	9.4	13.5	-
	50～59歳	136	26.5	54.4	8.1	9.6	1.5
	60～69歳	186	25.8	58.6	6.5	8.1	1.1
	70～79歳	213	36.6	49.3	3.3	9.9	0.9
	80歳以上	126	39.7	36.5	7.1	13.5	3.2
	無回答等	8	25.0	37.5	-	12.5	25.0

人権侵害をした経験の有無をみると「あると思う」と「あるかもしれない」を合わせた割合は、57.9%となり、「ないと思う」(29.8%)を30%近く上回っている。

性別でみると、「あると思う」と「あるかもしれない」を合わせた割合は男性が60.6%と女性(56.5%)よりも4.1ポイント高く、「ないと思う」の割合は女性の方が男性よりも2.2ポイント高いが、ほぼ同様に差異はない。

年齢別でみると、「あると思う」と「あるかもしれない」の割合は、60～69歳が65.1%と最も高く、次いで30～39歳(64.7%)の順となっており、80歳以上が43.6%で最も低い。

【兵庫県人権意識調査との比較】

本町では、「あると思う」と「あるかもしれない」の計が、県と比較すると10.3ポイント高く、一方「ないと思う」は15.0ポイント低い。

(5) 人権侵害を受けた経験の有無

表9 (問8) 今までに自分の人権が侵害をされたと思われたことがありますか

属性		回答者数	ある	ない	わからない	無回答等
全 体		882	29.5	34.5	31.9	4.2
性別	男性	386	26.4	37.8	33.7	2.1
	女性	478	31.8	32.2	31.0	5.0
	答えたくない	8	62.5	12.5	25.0	-
	無回答等	10	10.0	30.0	10.0	50.0
年齢別	18～29歳	66	25.8	30.3	40.9	3.0
	30～39歳	51	41.2	19.6	37.3	2.0
	40～49歳	96	32.3	39.6	28.1	-
	50～59歳	136	31.6	29.4	34.6	4.4
	60～69歳	186	31.7	33.3	31.7	3.2
	70～79歳	213	27.7	43.7	27.2	1.4
	80歳以上	126	22.2	30.2	34.9	12.7
	無回答等	8	25.0	37.5	-	37.5

人権侵害を受けた経験の有無をみると、「ない」が34.5%と「ある」(29.5%)を5ポイント上回っており、「わからない」が31.9%となっている。

性別でみると、「ある」の割合は女性(31.8%)が男性(26.4%)よりもやや高くなっている。

年齢別でみると、「ある」の割合は30～39歳が41.2%で最も高く、次いで40～49歳(32.3%)の順となっており、80歳以上が22.2%で最も低い。また、「わからない」の割合は18～29歳が40.9%で最も高く、次いで30～39歳(37.3%)、50～59歳(34.6%)の順となっている。

【兵庫県人権意識調査との比較】

本町では、「ある」が県よりも6.4ポイント高く、「ない」が21.6ポイント低い。また、「わからない」は、県よりも11.9ポイント上回っている。

(6) それは、どのような人権侵害でしたか

表 10 (問 9) それは、どのような人権侵害でしたか (〇はいくつでも)

属性		回答者数	名誉や信用を傷つけられた	悪口などで名	学校でのいじめや体罰	暴力、脅迫など	職場でのいじめやいやがらせ	地域や学校、職場での暴力、脅迫など	職場でのいじめやいやがらせ	家庭内での暴力	差別	家族間での暴力	信用を失った	プライバシーを侵害された	ネット・SNSで受けた迷惑
全 体		260	49.6	9.2	27.7	27.7	5.0	11.2	15.0	3.1					
性別	男性	102	49.0	12.7	27.5	25.5	2.0	10.8	14.7	-					
	女性	152	48.7	6.6	26.3	28.3	6.6	11.8	15.1	4.6					
	答えたくない	5	50.0	12.5	37.5	37.5	12.5	-	12.5	12.5					
	無回答等	1	10.0	-	10.0	-	-	-	-	-					
年齢別	18～29歳	17	47.1	11.8	76.5	17.6	-	5.9	11.8	5.9					
	30～39歳	21	33.3	14.3	38.1	33.3	-	4.8	14.3	4.8					
	40～49歳	31	51.6	6.5	35.5	32.3	9.7	9.7	9.7	-					
	50～59歳	43	51.2	7.0	32.6	30.2	7.0	11.6	9.3	2.3					
	60～69歳	59	35.6	6.8	18.6	28.8	5.1	18.6	11.9	5.1					
	70～79歳	59	59.3	13.6	15.3	33.9	6.8	8.5	23.7	3.4					
	80歳以上	28	64.3	7.1	17.9	3.6	-	10.7	17.9	-					
	無回答等	2	100.0	-	50.0	50.0	-	-	50.0	-					

属性		回答者数	学校でのいじめ	ネット・SNSでのいじめ	ドメスティック・バイオレンス	中傷による誹謗	トイメンタル・ネット	インタネット	部分差別を受け	わからない	その他	無回答等
全 体		260	14.2	6.2	1.5	3.8	2.3	5.0	8.1			
性別	男性	102	19.6	1.0	2.0	4.9	4.9	3.9	7.8			
	女性	152	10.5	9.9	1.3	3.3	0.7	5.9	5.9			
	答えたくない	5	12.5	-	-	-	-	-	12.5			
	無回答等	1	-	-	-	-	-	-	30.0			
年齢別	18～29歳	17	41.2	-	5.9	-	-	-	5.9			
	30～39歳	21	33.3	-	4.8	4.8	-	9.5	14.3			
	40～49歳	31	22.6	9.7	-	-	3.2	3.2	3.2			
	50～59歳	43	14.0	4.7	2.3	-	2.3	7.0	4.7			
	60～69歳	59	8.5	3.4	1.7	8.5	1.7	6.8	1.7			
	70～79歳	59	6.8	15.3	-	3.4	1.7	5.1	5.1			
	80歳以上	28	3.6	-	-	3.6	7.1	-	28.6			
	無回答等	2	-	-	-	50.0	-	-	100.0			

人権侵害を受けた経験がある人に、その内容についてたずねたところ、「悪口などで名誉や信用を傷つけられた」が49.6%で最も高く、次いで「地域や学校、職場での暴力、脅迫など」「職場でのいじめやいやがらせ」(27.7%)が同率で続き、以下「プライバシーを侵害された」(15.0%)、「学校でのいじめや体罰」(14.2%)の順となっている。

性別で見ると、「悪口などで名誉や信用を傷つけられた」の割合は、男性が49.0%で女性(48.7%)とほぼ差異がなく、「地域や学校、職場での暴力、脅迫など」の割合は男性の方が女性よりも1.2ポイント高く、「職場でのいじめやいやがらせ」の割

合は2.8ポイント女性の方が男性よりも高くなっているがいずれも大きな差異はない。これに対し、「学校でのいじめや体罰」の割合は9.1ポイント、男性の方が女性よりも高く、「ドメスティック・バイオレンス」の割合は8.9ポイント、女性の方が男性よりも高くなっている。

年齢別で見ると、「悪口などで名誉や信用を傷つけられた」の割合は80歳以上が、「地域や学校、職場での暴力、脅迫など」の割合は18～59歳が高く、「職場でのいじめやいやがらせ」は30歳から79歳以上が比較的高い数値となっている。

【兵庫県人権意識調査との比較】

本町の調査では、「職場でのいじめやいやがらせ」の割合が、27.7ポイントと県より14.4ポイント、次いで「学校でのいじめや体罰」(14.2%)が県より8.5ポイント、低くなっている。県の調査では、「部落差別を受けた」という質問項目は設けられていない。

(7) 人権侵害を受けた時の対応

表 11-1 (問 10) その時、あなたは どう (対応) されましたか (○はいくつでも)

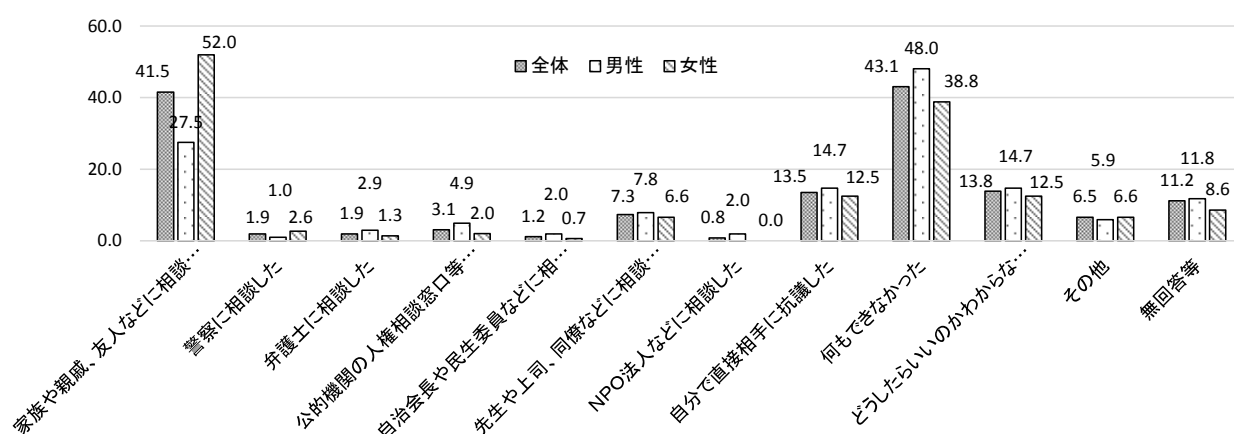
属性		回答者数	談友家 し人族 たなや ど親 に戚、 相	た警 察に 相談し	し弁 た護 士に 相談	に権公 相相的 談談機 し窓関 た口の 等人	相生自 談委治 し員会 たな長 どや に民	談同先 し僚生 たなや ど上 に司、 相	どN にP 相O 談法 し人 たな	手自 に分 抗で 議直 し接 た相
全 体		260	41.5	1.9	1.9	3.1	1.2	7.3	0.8	13.5
性 別	男性	102	27.5	1.0	2.9	4.9	2.0	7.8	2.0	14.7
	女性	152	52.0	2.6	1.3	2.0	0.7	6.6	-	12.5
	答えたくない	5	12.5	-	-	-	-	12.5	-	12.5
	無回答等	1	-	-	-	-	-	-	-	-
年 齢 別	18～29歳	17	64.7	-	-	5.9	5.9	17.6	5.9	-
	30～39歳	21	66.7	-	-	9.5	-	23.8	-	9.5
	40～49歳	31	48.4	-	3.2	-	-	16.1	-	16.1
	50～59歳	43	46.5	2.3	-	-	-	7.0	-	11.6
	60～69歳	59	37.3	-	1.7	1.7	1.7	3.4	1.7	6.8
	70～79歳	59	27.1	3.4	1.7	6.8	-	-	-	23.7
	80歳以上	28	32.1	7.1	7.1	-	3.6	-	-	17.9
	無回答等	2	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-

表 11-2 (問 10) その時、あなたはどう (対応) されましたか (〇はいくつでも)

属性		回答者数	何もできなかった	わからないのか分かったから	その他	無回答等
全体		260	43.1	13.8	6.5	11.2
性別	男性	102	48.0	14.7	5.9	11.8
	女性	152	38.8	12.5	6.6	8.6
	答えたくない	5	37.5	25.0	12.5	12.5
	無回答等	1	100.0	-	-	300.0
年齢別	18～29歳	17	35.3	5.9	5.9	5.9
	30～39歳	21	23.8	14.3	9.5	19.0
	40～49歳	31	35.5	12.9	9.7	3.2
	50～59歳	43	46.5	16.3	4.7	9.3
	60～69歳	59	47.5	11.9	10.2	1.7
	70～79歳	59	45.8	18.6	3.4	8.5
	80歳以上	28	50.0	10.7	-	39.3
	無回答等	2	50.0	-	50.0	100.0

人権侵害を受けた時の対応についてたずねたところ、「何もできなかった」が 43.1% で最も高く、次いで「家族や親戚、友人などに相談した」(41.5%)、「どうしたらいいのか分からなかった」(13.8%) の順となっている。

図 3 (問 10) その時、あなたはどう (対応) されましたか (〇はいくつでも) (性別)



性別でみると、「家族や親戚、友人などに相談した」の割合は、女性が 52.0% と男性よりも 24.5 ポイント高くなっている。一方「何もできなかった」の割合は、男性が 9.2 ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「家族や親戚、友人などに相談した」、「先生や職場の上司、同僚などに相談した」の割合は概ね若年層が高くなっている。

第2章 個別の人権問題に関する意識

(1) 女性の人権について

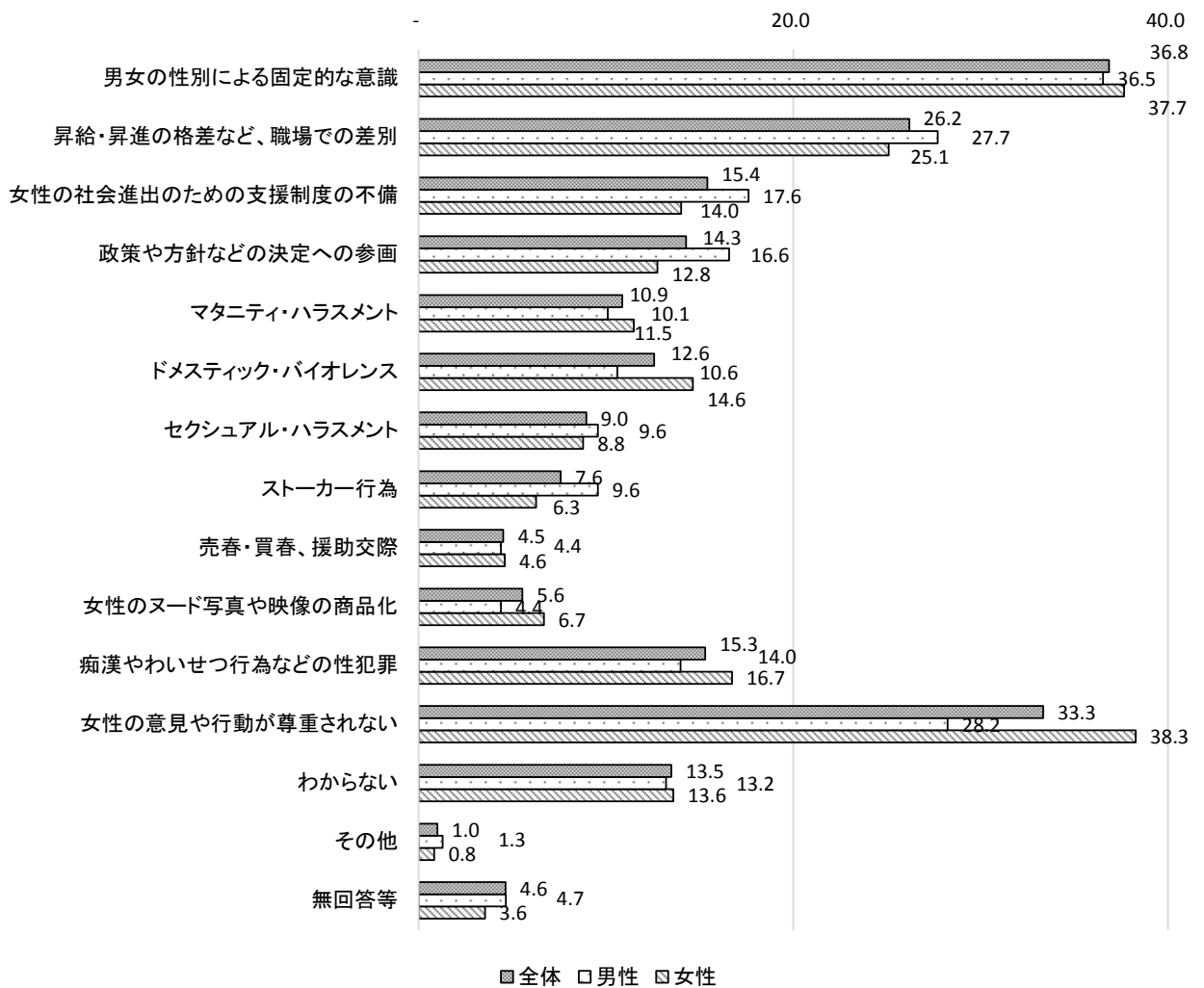
表12 (問11)「女性の人権」に関することで特に問題があると思われるのは
(○は3つまで)

属性		回答者数	意識する女性の固定的なもの	男女性の性的別	場での差別	格差	昇給・昇進の機会	女性の社会進出のための支援制度の不備	女性の権利の尊重	政治的決定への参加	政策や方針	ハラスメント	ドメスティック・バイオレンス	セクハラ	ストーカー行為
全体		882	36.8	26.2	15.4	14.3	10.9	12.6	9.0	7.6					
性別	男性	386	36.5	27.7	17.6	16.6	10.1	10.6	9.6	9.6					
	女性	478	37.7	25.1	14.0	12.8	11.5	14.6	8.8	6.3					
	答えたくない	8	37.5	25.0	-	-	12.5	-	-	-					
	無回答等	10	10.0	20.0	10.0	10.0	10.0	-	-	-					
年齢別	18～29歳	66	43.9	33.3	9.1	4.5	27.3	1.5	15.2	6.1					
	30～39歳	51	45.1	23.5	17.6	9.8	19.6	19.6	13.7	5.9					
	40～49歳	96	45.8	27.1	26.0	9.4	12.5	20.8	14.6	10.4					
	50～59歳	136	44.1	30.9	18.4	15.4	11.0	16.9	9.6	11.8					
	60～69歳	186	36.6	24.7	14.5	19.4	11.3	14.5	10.2	10.2					
	70～79歳	213	32.4	27.2	9.9	16.9	7.0	10.3	5.2	5.6					
	80歳以上	126	25.4	19.0	17.5	10.3	3.2	6.3	4.0	2.4					
	無回答等	8	-	12.5	12.5	37.5	12.5	-	-	-					

属性		回答者数	援助交際・買春、売春	商品文化や映像のド	写真や映像のド	女性の権利の尊重	性犯罪などの性犯罪	つねにわいせつ行為	痴漢やわいせつ行為	行ないが尊重	女性の意見や行動が尊重されない	わからない	その他	無回答等
全体		882	4.5	5.6	15.3	33.3	13.5	1.0	4.6					
性別	男性	386	4.4	4.4	14.0	28.2	13.2	1.3	4.7					
	女性	478	4.6	6.7	16.7	38.3	13.6	0.8	3.6					
	答えたくない	8	12.5	-	-	25.0	25.0	-	12.5					
	無回答等	10	-	-	10.0	-	10.0	-	50.0					
年齢別	18～29歳	66	1.5	-	15.2	31.8	15.2	3.0	-					
	30～39歳	51	3.9	-	13.7	27.5	5.9	2.0	3.9					
	40～49歳	96	6.3	4.2	14.6	38.5	3.1	-	3.1					
	50～59歳	136	8.1	5.9	19.9	34.6	5.1	0.7	0.7					
	60～69歳	186	4.8	5.9	17.7	37.6	10.2	1.6	3.2					
	70～79歳	213	2.3	8.5	15.5	36.6	18.3	0.5	4.7					
	80歳以上	126	4.8	6.3	7.9	21.4	30.2	0.8	12.7					
	無回答等	8	-	-	12.5	-	-	-	37.5					

女性に関する人権の問題をみると、「男女の性別による固定的な意識」が36.8%で最も高く、次いで「女性の意見や行動が尊重されない」(33.3%)、「昇給・昇進の格差など、職場での差別」(26.2%)、「女性の社会進出のための支援制度の不備」(15.4%)、「痴漢やわいせつ行為などの性犯罪」(15.3%)の順となっている。

図4 (問11)「女性の人権」に関することで特に問題があると思われるのは
(性別)



性別で見ると、「女性の意見や行動が尊重されない」の割合は女性が男性よりも10.1ポイント、「ドメスティック・バイオレンス」の割合は4.0ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、全年齢を通して「男女の性別による固定的な意識」「女性の意見や行動が尊重されない」「昇給・昇進の格差など、職場での差別」、が、比較的高い割合となっている。「マタニティ・ハラスメント」「セクシュアル・ハラスメント」は、若年層で比較的高かった。

【兵庫県人権意識調査との比較】

本町の調査では、「女性の社会進出のための支援制度の不備」の割合が15.4%と、県より9.8ポイント、「セクシュアル・ハラスメント」の割合が9.0%と県より5.4ポイント、それぞれ低くなっている。

(2) 子どもの人権について

表 13 (問 12)「子どもの人権」に関することで特に問題があると思われるのは
(○は3つまで)

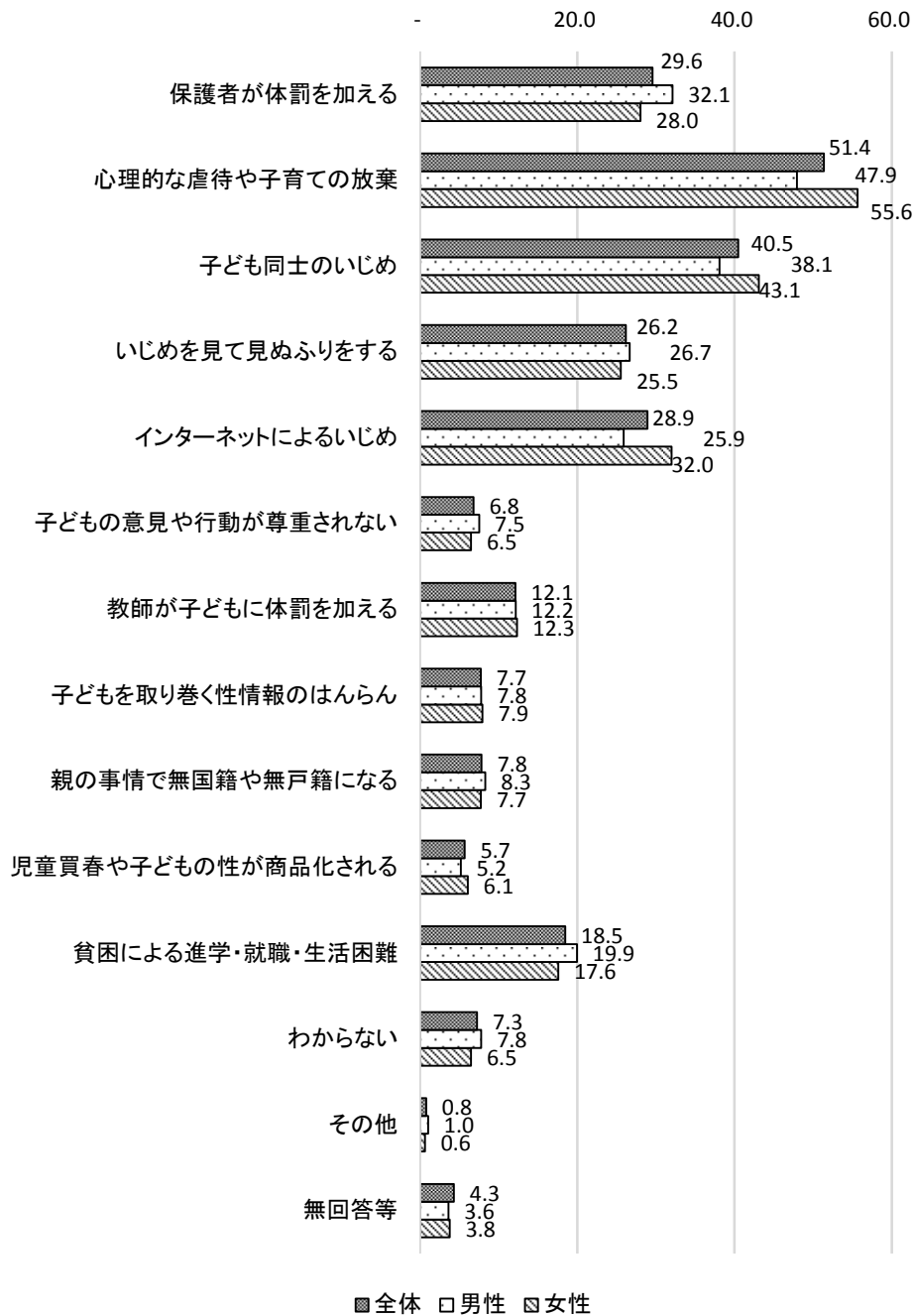
属性		回答者数	を保護者が体罰を加える	棄や心理的虐待	い子ども同士のいじめ	る見ぬふりをする	めインターネットによるいじめ	さや子どもが尊重される	るに教師が子どもを加える	は巻く子どもの情報を取り
全体		882	29.6	51.4	40.5	26.2	28.9	6.8	12.1	7.7
性別	男性	386	32.1	47.9	38.1	26.7	25.9	7.5	12.2	7.8
	女性	478	28.0	55.6	43.1	25.5	32.0	6.5	12.3	7.9
	答えたくない	8	12.5	-	12.5	25.0	12.5	-	12.5	-
	無回答等	10	20.0	20.0	30.0	40.0	10.0	-	-	-
年齢別	18～29歳	66	30.3	65.2	31.8	27.3	39.4	15.2	9.1	1.5
	30～39歳	51	21.6	60.8	56.9	17.6	31.4	13.7	15.7	11.8
	40～49歳	96	28.1	59.4	45.8	16.7	45.8	5.2	5.2	12.5
	50～59歳	136	26.5	56.6	42.6	30.1	39.7	5.1	6.6	5.9
	60～69歳	186	34.4	55.9	42.5	29.0	29.6	8.1	12.4	14.0
	70～79歳	213	33.8	44.6	39.4	28.2	19.7	4.7	18.3	2.8
	80歳以上	126	23.0	33.3	31.7	25.4	13.5	4.8	13.5	7.1
	無回答等	8	25.0	50.0	25.0	12.5	12.5	-	-	-

属性		回答者数	に国籍や無戸籍	親の事情で無	品の化の性が商人	児童の買春や子	学困・困難・職・生	貧困による進	わからない	その他	無回答等
全体		882	7.8	5.7	18.5	7.3	0.8	4.3			
性別	男性	386	8.3	5.2	19.9	7.8	1.0	3.6			
	女性	478	7.7	6.1	17.6	6.5	0.6	3.8			
	答えたくない	8	-	12.5	12.5	37.5	-	25.0			
	無回答等	10	-	-	10.0	-	-	40.0			
年齢別	18～29歳	66	4.5	-	19.7	6.1	-	-			
	30～39歳	51	7.8	11.8	15.7	-	-	3.9			
	40～49歳	96	10.4	7.3	24.0	1.0	1.0	1.0			
	50～59歳	136	8.8	7.4	22.1	3.7	2.2	3.7			
	60～69歳	186	10.2	5.9	21.0	3.2	0.5	1.1			
	70～79歳	213	6.6	4.2	15.0	11.7	0.5	4.2			
	80歳以上	126	5.6	5.6	14.3	18.3	0.8	12.7			
	無回答等	8	-	-	-	-	-	37.5			

子どもに関する人権の問題をみると、「心理的な虐待や子育ての放棄」が 51.4%で最も高く、次いで「子ども同士のいじめ」(40.5%)、「保護者が体罰を加える」(29.6%)、「インターネットによるいじめ」(28.9%)の順となっている。

性別でみると、「心理的な虐待や子育ての放棄」の割合は 7.7 ポイント、「インターネットによるいじめ」の割合は 6.1 ポイント、「子ども同士のいじめ」の割合は 5.0 ポイント、女性が男性よりもそれぞれ高くなっている。

図5 (問12)「子どもの人権」に関することで特に問題があると思われるのは
(性別)



年齢別でみると、「心理的な虐待や子育ての放棄」は18～29歳、「子ども同士のいじめ」は30～39歳、「いじめを見て見ぬふりをする」は50～59歳がそれぞれ最も高くなっている。

【兵庫県人権意識調査との比較】

本町の調査では、「貧困による進学・就職・生活困難」の割合が18.5%と、県より12.9%、「インターネットによるいじめ」が本町28.9%と、県より6.2ポイント、

「親の事情で無国籍や無戸籍になる」が7.8%と、県より6.3ポイント、それぞれ低くなっている。

(3) 高齢者の人権について

表14 (問13)「高齢者の人権」に関することで特に問題があると思われるのは
(○は3つまで)

属性		回答者数	い配慮が足りな	てまぢが足りな	十い分な保と	雇用と待遇が	入賃居が住宅難への	欺悪被徳害商が法多・い詐	設病で院の・虐福祉等施	分る介制護度をが支不援十す	尊意重見さやれ行な動いが	慮や情がす報足りす分なるかい配り
全 体		882	21.1	23.6	9.2	37.5	18.4	26.4	13.7	27.1		
性別	男性	386	21.2	26.7	7.3	38.3	15.3	28.8	15.5	26.9		
	女性	478	21.1	20.7	10.5	37.9	21.5	24.7	12.8	27.4		
	答えたくない	8	12.5	50.0	12.5	12.5	-	12.5	-	37.5		
	無回答等	10	20.0	20.0	20.0	10.0	-	30.0	-	10.0		
年齢別	18～29歳	66	13.6	33.3	6.1	34.8	24.2	25.8	12.1	19.7		
	30～39歳	51	25.5	27.5	3.9	41.2	23.5	27.5	5.9	23.5		
	40～49歳	96	26.0	17.7	11.5	46.9	22.9	37.5	11.5	17.7		
	50～59歳	136	25.0	29.4	14.0	41.9	16.9	30.1	11.8	21.3		
	60～69歳	186	24.7	33.3	8.6	38.7	21.5	29.6	14.5	30.6		
	70～79歳	213	16.0	16.9	8.9	33.8	14.1	19.2	18.3	35.7		
	80歳以上	126	19.0	12.7	6.3	31.7	14.3	21.4	13.5	27.0		
	無回答等	8	12.5	12.5	25.0	12.5	12.5	25.0	-	12.5		

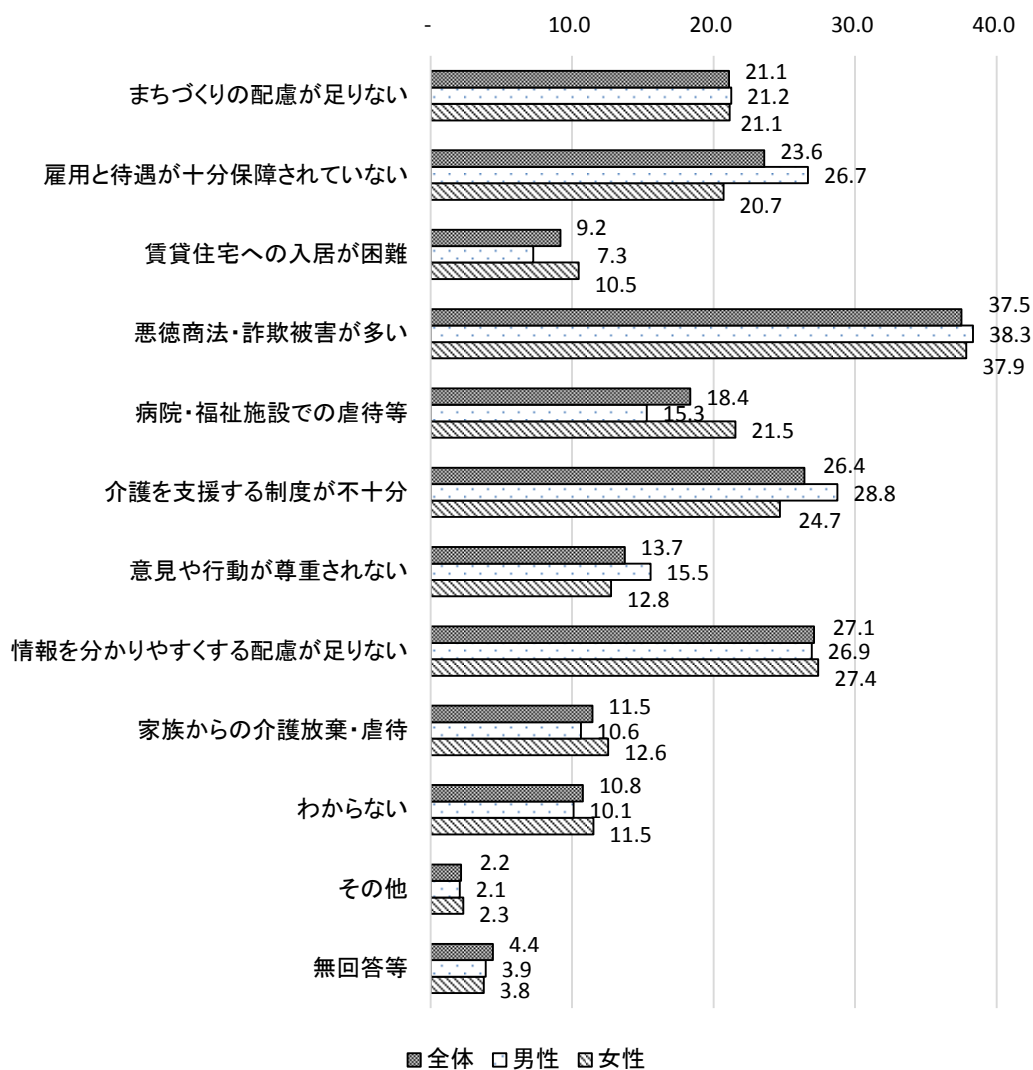
属性		回答者数	護家放族から虐待介	わからぬ	その他	無回答等
全 体		882	11.5	10.8	2.2	4.4
性別	男性	386	10.6	10.1	2.1	3.9
	女性	478	12.6	11.5	2.3	3.8
	答えたくない	8	-	12.5	-	12.5
	無回答等	10	-	-	-	50.0
年齢別	18～29歳	66	10.6	15.2	1.5	-
	30～39歳	51	17.6	9.8	3.9	5.9
	40～49歳	96	11.5	5.2	3.1	3.1
	50～59歳	136	11.0	7.4	2.2	2.9
	60～69歳	186	13.4	9.1	0.5	1.1
	70～79歳	213	12.2	13.1	1.9	5.2
	80歳以上	126	6.3	15.9	4.0	10.3
	無回答等	8	-	-	-	37.5

高齢者に関する人権の問題をみると、「悪徳商法や詐欺などによる被害が多い」が37.5%で最も高く、次いで「情報を分かりやすくする配慮が足りない」(27.1%)、「介護を支援する制度が不十分」(26.4%)、「雇用と待遇が十分保障されていない」(23.6%)の順となっている。

性別で見ると、「病院・福祉施設での虐待等」の割合は女性が男性よりも6.2ポイント高いのに対し、「介護を支援する制度が不十分」の割合は男性が女性よりも4.1ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「情報を分かりやすくする配慮が足りない」の割合が高年層でやや高くなっている。

図6 (問13)「高齢者の人権」に関することで特に問題があると思われるのは(性別)



【兵庫県人権意識調査との比較】

本町の調査では、「介護を支援する制度が不十分」の割合が26.4%と、県より12.5ポイント、「雇用と待遇が十分保障されていない」の割合が23.6%と、県より10.0ポイント、それぞれ低くなっている。

(4) 障がいのある人の人権について

表 15 (問 14) 「障がいのある人の人権」に関することで特に問題があると思われるのは (○は3つまで)

属性		回答者数	い配慮が足りな	まちづくりの配慮が足りない	てい分保待遇が	十雇用と待遇が	やの虐待な扱い	学校の利職場	護放族から虐待	家族からの虐待	入居が住宅への	賃貸住宅への	設院の虐待等	病の虐待等	参加しに活動	や文化ツク大会	スポ―ト大会	が不十分	受社会復帰等
全体		882	29.1	43.5	15.9	6.6	5.0	8.7	7.0	29.3									
性別	男性	386	29.5	44.3	16.3	7.3	4.1	8.0	8.8	26.9									
	女性	478	29.1	43.7	16.1	6.1	5.6	9.4	5.6	31.2									
	答えたくない	8	25.0	25.0	-	12.5	-	12.5	12.5	37.5									
	無回答等	10	20.0	20.0	-	-	10.0	-	-	20.0									
年齢別	18～29歳	66	24.2	43.9	36.4	9.1	4.5	9.1	4.5	37.9									
	30～39歳	51	39.2	35.3	39.2	13.7	3.9	-	3.9	25.5									
	40～49歳	96	32.3	51.0	13.5	8.3	3.1	9.4	5.2	34.4									
	50～59歳	136	38.2	52.9	16.9	3.7	8.8	10.3	6.6	35.3									
	60～69歳	186	29.6	54.3	12.4	5.4	4.3	9.7	8.1	33.9									
	70～79歳	213	26.3	35.2	11.7	7.5	5.2	8.0	10.8	25.8									
	80歳以上	126	19.8	30.2	9.5	4.8	3.2	9.5	4.0	15.1									
	無回答等	8	25.0	25.0	-	-	12.5	12.5	-	25.0									

属性		回答者数	慮や情が足りな	や報を分るか	情が足りな	尊意尊重や行ない	足消障	想人障	わがら	そ	無
全体		882	13.7	6.5	7.1	7.0	17.3	0.8	5.2		
性別	男性	386	13.0	7.8	8.0	6.2	15.3	0.5	4.4		
	女性	478	14.0	5.2	6.7	7.9	18.8	1.0	5.0		
	答えたくない	8	37.5	25.0	-	-	25.0	-	-		
	無回答等	10	10.0	-	-	-	20.0	-	50.0		
年齢別	18～29歳	66	10.6	6.1	6.1	6.1	15.2	-	1.5		
	30～39歳	51	21.6	9.8	2.0	7.8	11.8	2.0	2.0		
	40～49歳	96	14.6	8.3	8.3	10.4	13.5	-	3.1		
	50～59歳	136	10.3	5.9	4.4	3.7	14.0	0.7	2.9		
	60～69歳	186	15.6	7.0	9.1	8.6	12.9	-	2.7		
	70～79歳	213	11.7	6.6	9.9	7.5	20.2	1.4	5.2		
	80歳以上	126	15.9	4.0	4.8	5.6	28.6	1.6	15.1		
	無回答等	8	12.5	-	-	-	25.0	-	25.0		

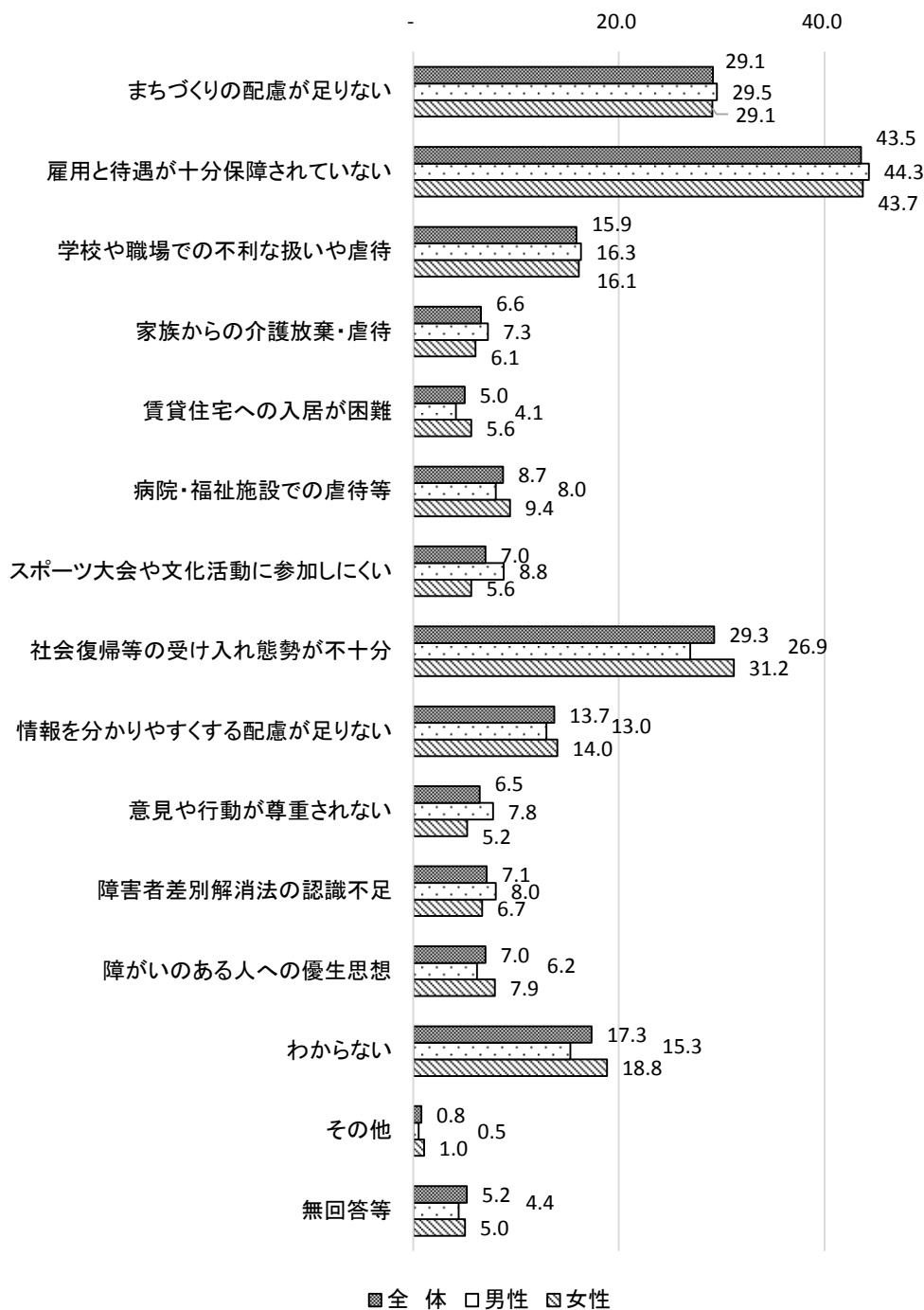
障がいのある人に関する人権の問題をみると、「雇用と待遇が十分保障されていない」が43.5%で最も高く、次いで「社会復帰等の受け入れ態勢が不十分」(29.3%)、「まちづくりの配慮が足りない」(29.1%)の順となっている。

性別でみると、男性、女性で大きな差異はみられない。

年齢別でみると、「学校や職場で不利な扱いを受ける」の割合は若年層が高く、「雇用と待遇が十分保障されていない」の割合が全体を通して高い。それ以外では全体

的に大きな差異はない。

図7 (問14)「障がいのある人の人権」に関することで特に問題があると思われるのは(性別)



【兵庫県人権意識調査との比較】

本町の調査では、「障がいのある人への優生思想」の割合が7.0%と、県より8.0ポイント、「病院・福祉施設での虐待等」の割合が8.7%と、県より6.7ポイント、「まちづくりの配慮が足りない」の割合が29.1%と、県より4.5ポイント、それぞれ高くなっている。

(5) 日本に居住する外国人の人権について

表 16 (問 15) 日本に居住する外国人に関する人権上、特に問題があると思われるのは (○は3つまで)

属性		回答者数	な学 扱校 いで の 不 利	の就 不職 利や な職 扱場 いで	利や住 な入宅 扱居の い時申 の込 不み	いで社 の会 不保 利障 な制 扱度	の結 周婚 困す のる 反と 対き	や違 がい活 らに習 せよ慣 る等 いの	な の地 扱差 域い 別活 や動 不 等利 で	がチへ らにイ せよト るス いピ や
全 体		882	6.8	21.5	4.9	11.2	10.2	21.1	9.9	7.4
性別	男性	386	9.6	25.6	4.9	12.4	11.1	21.5	11.4	10.1
	女性	478	4.8	18.6	5.0	10.5	9.4	20.9	9.0	5.2
	答えたくない	8	-	25.0	-	-	-	25.0	-	-
	無回答等	10	-	-	-	10.0	20.0	10.0	-	10.0
年齢別	18～29歳	66	19.7	33.3	7.6	10.6	6.1	31.8	15.2	12.1
	30～39歳	51	5.9	17.6	5.9	5.9	9.8	37.3	9.8	7.8
	40～49歳	96	9.4	20.8	5.2	11.5	10.4	22.9	8.3	12.5
	50～59歳	136	5.9	25.0	5.1	14.7	12.5	26.5	7.4	9.6
	60～69歳	186	5.9	24.2	5.4	11.3	11.3	18.8	15.1	7.5
	70～79歳	213	4.7	20.7	4.7	14.1	8.5	19.2	8.5	5.2
	80歳以上	126	4.8	12.7	2.4	4.8	10.3	8.7	6.3	1.6
	無回答等	8	-	-	-	12.5	25.0	12.5	-	12.5

属性		回答者数	認 識 不 足	チ ヘ イ ト ス ヘ の !	が の 不 外 十 分 語 表 記 で	病 院 ・ 施 設 で	な 十 政 分 反 映 さ れ が	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答 等
全 体		882	2.8	18.7	6.0	39.1	1.6	5.9		
性別	男性	386	3.6	18.7	8.3	35.2	0.8	3.9		
	女性	478	2.3	18.4	4.4	42.7	2.3	6.5		
	答えたくない	8	-	50.0	-	25.0	-	12.5		
	無回答等	10	-	10.0	-	30.0	-	50.0		
年齢別	18～29歳	66	3.0	18.2	7.6	25.8	-	-		
	30～39歳	51	3.9	25.5	5.9	27.5	2.0	5.9		
	40～49歳	96	2.1	18.8	9.4	36.5	1.0	5.2		
	50～59歳	136	3.7	23.5	4.4	33.8	0.7	4.4		
	60～69歳	186	3.2	21.5	5.4	33.9	2.7	4.3		
	70～79歳	213	2.3	16.0	6.6	44.1	2.3	6.6		
	80歳以上	126	2.4	11.9	4.8	57.9	0.8	10.3		
	無回答等	8	-	12.5	-	37.5	-	37.5		

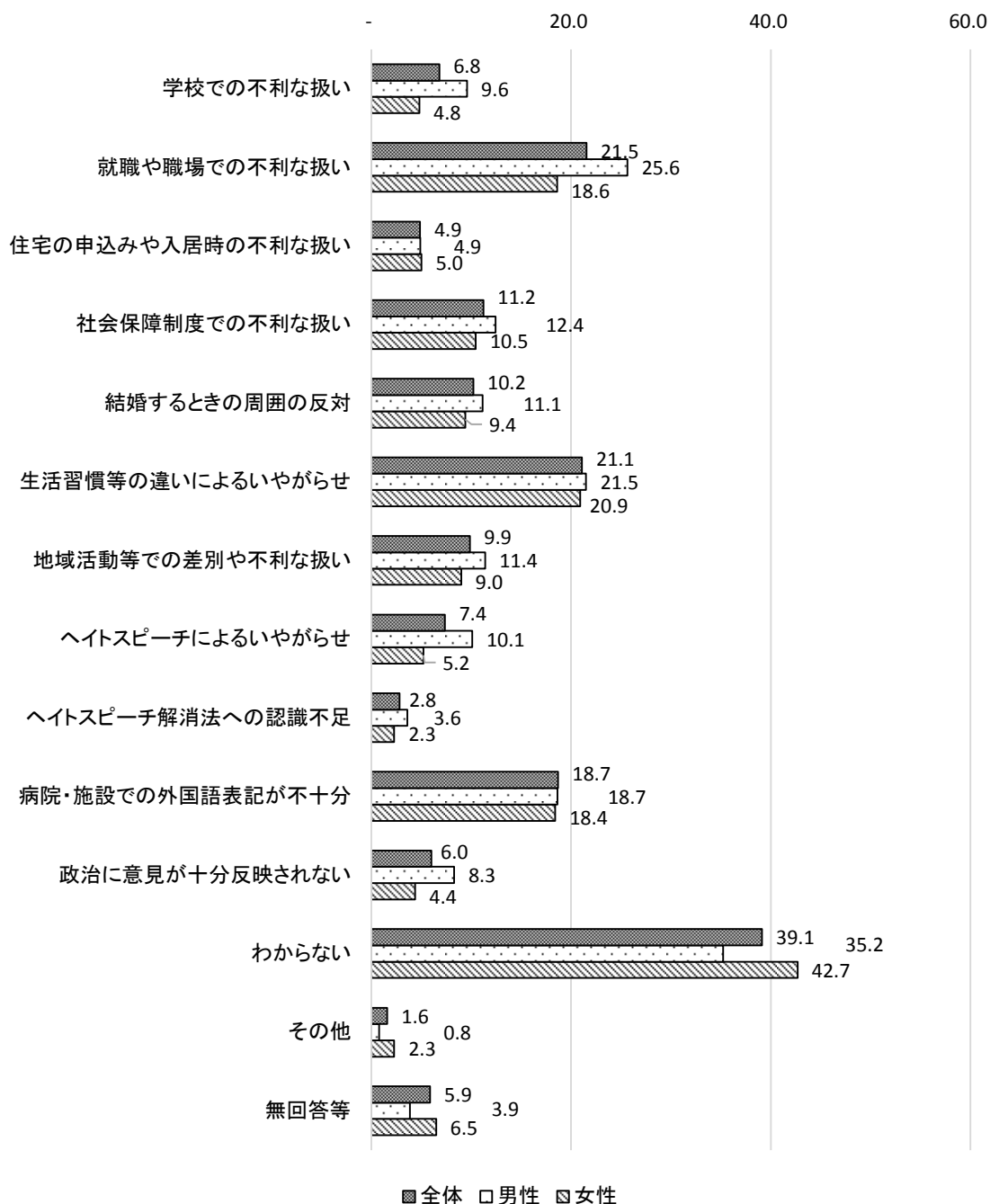
日本に居住する外国人に関する人権の問題をみると、「わからない」が 39.1%で最も高く、次いで「就職や職場での不利な扱い」(21.5%)、「生活習慣等の違いによるいやがらせ」(21.1%)、「病院・施設での外国語表記が不十分」(18.7%)の順となっている。

性別でみると、「就職や職場での不利な扱い」の割合は男性が女性よりも7.0ポイント高いのに対し、「わからない」の割合は女性が男性よりも7.5ポイント高くなっ

ている。

年齢別でみると、「わからない」の割合が全体をとおして高い傾向にあり、特に高齢者層ではその傾向が顕著に表れている。

図8 (問15) 日本に居住する外国人に関することで人権上、特に問題があると思われるのは(性別)



【兵庫県人権意識調査との比較】

本町の調査では、「ヘイトスピーチによるいやがらせ」の割合が7.4%と、県より10.2ポイント、「入学するときや学校での不利な扱い」の割合が6.8%と、県より5.5ポイント、「就職するときや職場での不利な扱い」の割合が21.5%と、県より5.4ポイント、それぞれ低くなっている。

(6) 働く人の人権について

表 17 (問 16) 働く人の人権で、最近、特に問題があると思われるのは
(○は1つ)

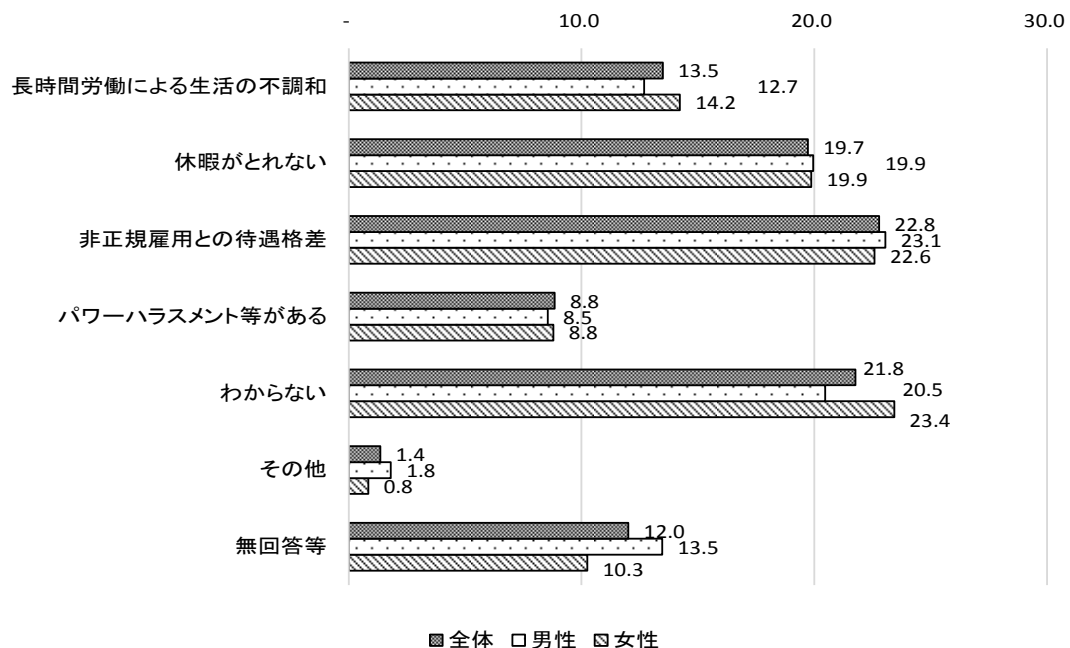
属性		回答者数	調よ長 和る時 生間 活労 働の 働に	い休 暇 が と れ な	の非 待正 遇規 格雇 差用 と	るメ ンワ ト 等ハ ラ あ ス	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答 等
全 体		882	13.5	19.7	22.8	8.8	21.8	1.4	12.0
性 別	男性	386	12.7	19.9	23.1	8.5	20.5	1.8	13.5
	女性	478	14.2	19.9	22.6	8.8	23.4	0.8	10.3
	答えたくない	8	-	25.0	37.5	25.0	-	12.5	-
	無回答等	10	20.0	-	10.0	10.0	10.0	-	50.0
年 齢 別	18～29歳	66	28.8	21.2	7.6	16.7	10.6	6.1	9.1
	30～39歳	51	25.5	29.4	9.8	7.8	13.7	-	13.7
	40～49歳	96	10.4	36.5	17.7	16.7	10.4	-	8.3
	50～59歳	136	14.0	26.5	19.9	7.4	16.2	2.2	14.0
	60～69歳	186	9.7	21.5	33.9	8.1	17.7	0.5	8.6
	70～79歳	213	12.7	11.7	26.8	6.6	28.6	1.4	12.2
	80歳以上	126	8.7	7.1	20.6	5.6	40.5	0.8	16.7
	無回答等	8	25.0	-	12.5	12.5	12.5	-	37.5

働く人の人権の問題をみると、「非正規雇用との待遇格差」が22.8%で最も高く、次いで「わからない」(21.8%)、「休暇がとれない」(19.7%)の順となっている。

性別でみると、男女間での回答に大きな差異はない。

年齢別でみると、「長時間労働による生活の不調和」の割合は18歳から39歳までの層で高く、「非正規雇用との待遇格差」は、60歳以上で比較的高い。「休暇がとれない」は、特に40～49歳での割合が高い。

図 9 (問 16) 働く人の人権で、最近、特に問題があると思われるのは (性別)



【兵庫県人権意識調査との比較】

本町の調査では、「長時間労働による生活の不調和」の割合が、県より 6.7 ポイント、「パワーハラスメント等がある」の割合が 8.8%と、県より 6.5 ポイント、それぞれ低くなっている。また、「わからない」の割合は、21.8%と県より 14.5 ポイント高い。

(7) 異性愛、同性愛などといった性的指向に関する人権について

表 18 (問 17) 異性愛、同性愛などといった性的指向に関して、現在、どのような人権問題が起きているか (○は3つまで)

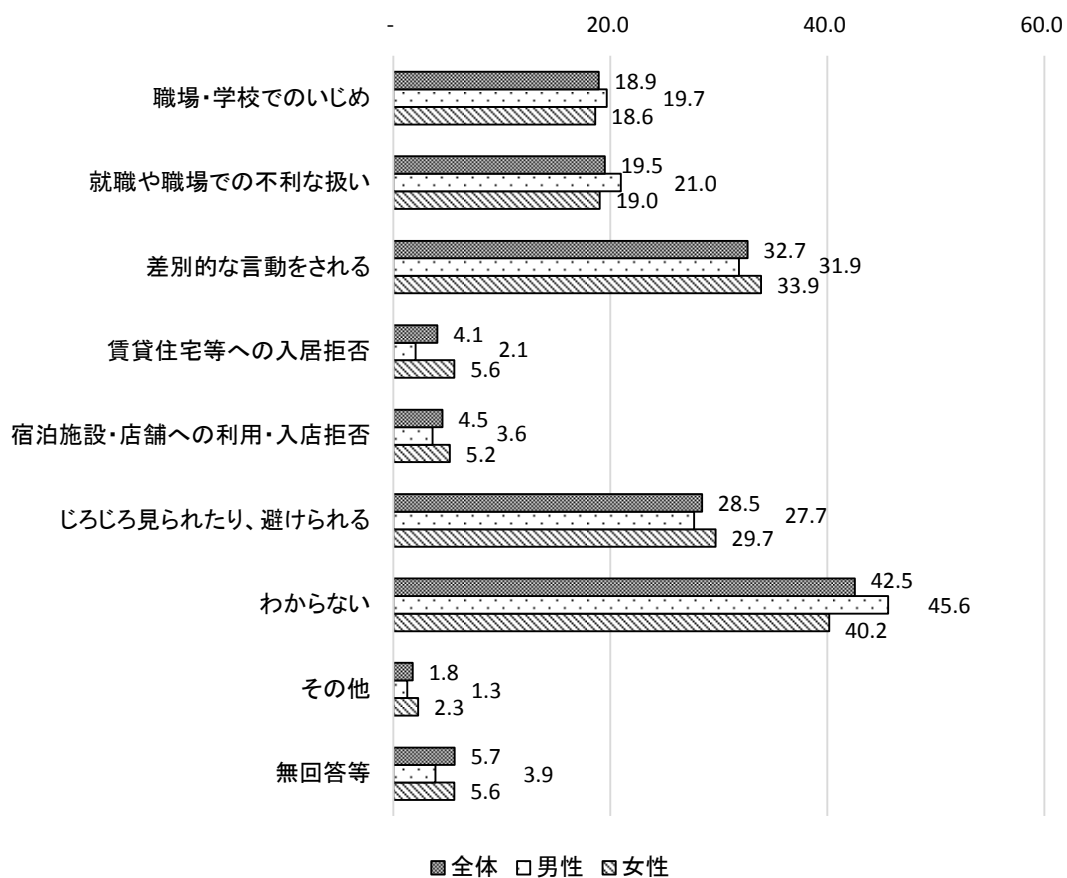
属性	回答者数	の職 い場 じ・ め学 校で	の就 不職 利や な職 扱場 いで	を差 さ別 れる るな 言動	の賃 入貸 居住 拒宅 否等 へ	入舗 店へ 拒の 否利 用・ 店	られ じろ じろ 見 避け られ る	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答 等	
全 体	882	18.9	19.5	32.7	4.1	4.5	28.5	42.5	1.8	5.7	
性別	男性	386	19.7	21.0	31.9	2.1	3.6	27.7	45.6	1.3	3.9
	女性	478	18.6	19.0	33.9	5.6	5.2	29.7	40.2	2.3	5.6
	答えたくない	8	12.5	-	25.0	12.5	-	25.0	50.0	-	25.0
	無回答等	10	10.0	-	10.0	-	10.0	-	30.0	-	60.0
年齢別	18～29歳	66	28.8	15.2	50.0	6.1	7.6	36.4	25.8	1.5	-
	30～39歳	51	13.7	15.7	47.1	-	7.8	39.2	29.4	2.0	3.9
	40～49歳	96	26.0	24.0	43.8	5.2	1.0	35.4	34.4	1.0	2.1
	50～59歳	136	20.6	17.6	35.3	6.6	2.9	30.1	42.6	2.2	2.9
	60～69歳	186	23.7	22.6	32.8	3.8	4.8	31.7	39.8	0.5	4.3
	70～79歳	213	14.1	20.2	29.1	3.3	5.6	24.4	47.9	3.3	5.6
	80歳以上	126	10.3	17.5	13.5	3.2	3.2	16.7	57.9	1.6	14.3
	無回答等	8	12.5	-	12.5	-	12.5	-	37.5	-	50.0

異性愛、同性愛などといった性的指向に関する人権上の問題をみると、「わからない」が 42.5%で最も高く、次いで「差別的な言動をされる」(32.7%)、「じろじろ見られたり、避けられる」(28.5%)の順となっている。

性別でみると「わからない」の割合は男性が女性よりも 5.4 ポイント高いのに対し、「賃貸住宅等への入居拒否」の割合は女性が男性よりも 3.5 ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「差別的な言動をされる」の割合は若年層で高く、「わからない」は、高年層で比較的高い。

図 10 (問 17) 異性愛、同性愛などの性的指向に関して、現在、どのような人権問題が起きているか (性別)



【兵庫県人権意識調査との比較】

本町の調査では、「差別的な言動をされる」の割合が 32.7%と、県より 8.2 ポイント、「職場・学校でのいじめ」の割合が 18.9%と、県より 7.3 ポイント、それぞれ低くなっている。また、「わからない」の割合は、42.5%と県より 7.2 ポイント高い。

(8) 性同一性障害者の人権について

表 19 (問 18) 性同一性障害者に関して、現在、どのような人権問題が起きているか (○は3つまで)

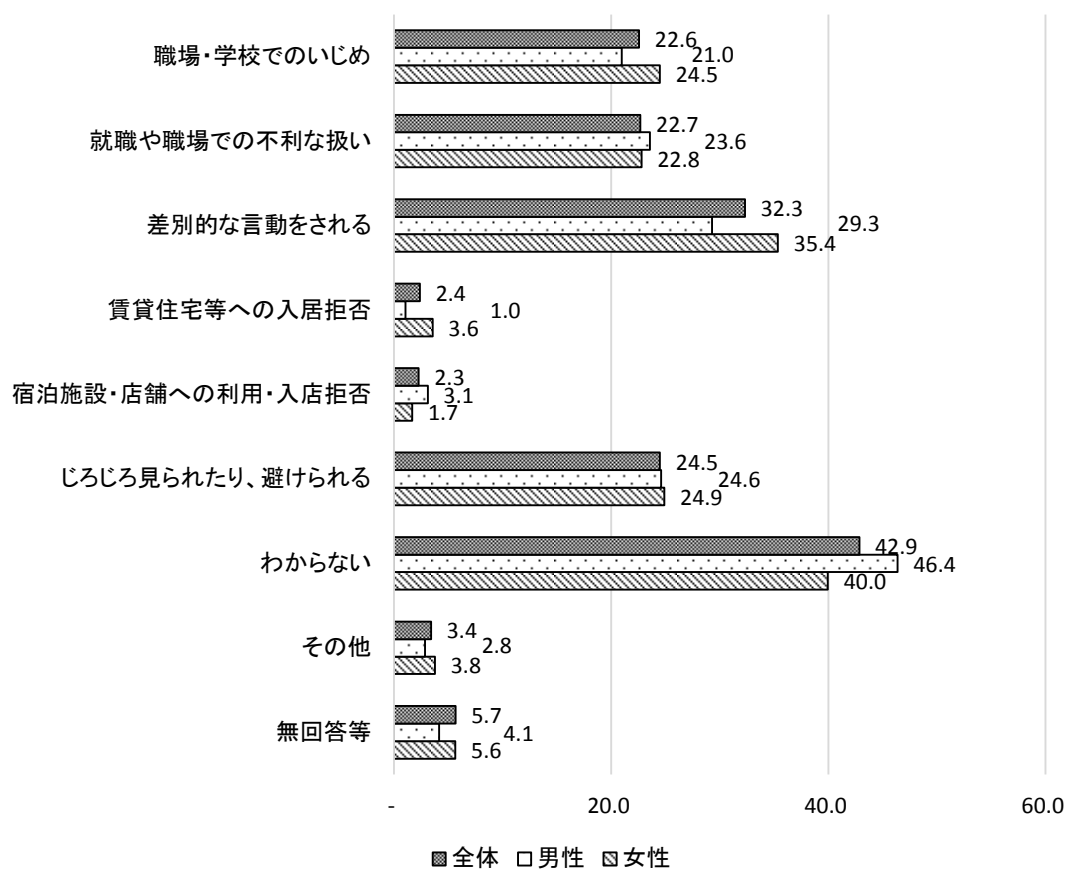
属性		回答者数	の職 い場 じ・学 め校 で	の就 不職 利や な職 扱場 いで	を差 別的 な言 動	の賃 入貸 居住 拒宅 等へ	入舗 店へ 拒泊 否施 利設 用・ 店	られ じろ じろ 見ら れら れる 、 避け られ る	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答 等
全 体		882	22.6	22.7	32.3	2.4	2.3	24.5	42.9	3.4	5.7
性 別	男性	386	21.0	23.6	29.3	1.0	3.1	24.6	46.4	2.8	4.1
	女性	478	24.5	22.8	35.4	3.6	1.7	24.9	40.0	3.8	5.6
	答えたくない	8	-	-	25.0	-	-	12.5	62.5	12.5	12.5
	無回答等	10	10.0	-	10.0	-	-	10.0	30.0	-	60.0
年 齢 別	18～29歳	66	37.9	24.2	54.5	6.1	3.0	33.3	25.8	4.5	-
	30～39歳	51	27.5	31.4	33.3	-	5.9	23.5	27.5	3.9	3.9
	40～49歳	96	28.1	26.0	41.7	1.0	3.1	30.2	35.4	2.1	1.0
	50～59歳	136	23.5	26.5	33.8	2.9	1.5	32.4	42.6	2.9	3.7
	60～69歳	186	26.3	25.3	33.9	2.7	0.5	26.3	36.6	2.7	5.4
	70～79歳	213	17.4	19.2	30.0	3.3	3.3	20.7	48.8	5.2	6.1
	80歳以上	126	11.1	15.1	14.3	-	1.6	11.9	64.3	1.6	11.9
無回答等		8	12.5	-	12.5	-	-	12.5	25.0	12.5	50.0

性同一性障害者の人権上の問題をみると、「わからない」が 42.9%で最も高く、次いで「差別的な言動をされる」(32.3%)、「じろじろ見られたり、避けられる」(24.5%)の順となっている。

性別でみると「わからない」の割合は男性が女性よりも 6.4 ポイント高いのに対し、「差別的な言動をされる」の割合は女性が男性よりも 6.1 ポイント高い。

年齢別でみると、「差別的な言動をされる」の割合は若年層で高く、「わからない」は、高年層で比較的高い。

図 11 (問 18) 性同一性障害者に関して、現在、どのような人権問題が起きているか (性別)



【兵庫県人権意識調査との比較】

本町の調査では、「差別的な言動をされる」の割合が 32.3%と、県より 8.8 ポイント、「職場・学校でのいじめ」の割合が 22.6%と、県より 9.8 ポイント、それぞれ低くなっている。また、「わからない」の割合は、42.9%と県より 7.9 ポイント高い。

(9) インターネットを悪用した人権侵害について

表 20 (問 19) インターネットを悪用した人権侵害について、特に問題があると思われるのは (○は3つまで)

属性		回答者数	の差 掲別 載的 な表 現	前成 ・年 写査 真者 掲の 載名 の未	ルで を他 を人 覧の メ無 断	イの ト出 罪会 を誘 い発 系サ サす	ペの ー有 ジ害 ホ画 ー像 ム等	ネの ッイ ン商 取タ 引法 によ	削情 除報 がの 困訂 難正 ・	る差 情別 報を の助 掲長 載す
全 体		882	61.6	5.3	11.5	25.3	5.2	21.9	30.7	9.9
性別	男性	386	60.6	6.0	14.0	25.4	4.1	24.4	33.9	11.7
	女性	478	63.2	5.0	9.4	25.5	6.3	19.7	28.9	8.8
	答えたくない	8	62.5	-	25.0	12.5	-	37.5	25.0	-
	無回答等	10	20.0	-	-	20.0	-	20.0	-	-
年齢別	18～29歳	66	80.3	12.1	9.1	6.1	7.6	22.7	43.9	13.6
	30～39歳	51	70.6	11.8	9.8	27.5	9.8	13.7	45.1	15.7
	40～49歳	96	89.6	8.3	10.4	24.0	7.3	15.6	41.7	13.5
	50～59歳	136	73.5	2.9	14.7	26.5	7.4	23.5	42.6	11.8
	60～69歳	186	66.7	4.8	12.4	33.9	4.8	25.3	32.8	12.4
	70～79歳	213	48.4	2.8	11.7	29.6	2.3	22.1	20.2	6.1
	80歳以上	126	31.0	4.8	9.5	15.1	4.0	22.2	13.5	4.0
	無回答等	8	25.0	-	-	12.5	-	25.0	-	-

属性		回答者数	るバ他 情シ人 報ーの 掲にプ 載関ラ すイ	ノリ ベン ジポ ル	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答 等
全 体		882	26.8	2.3	14.4	1.0	6.0
性別	男性	386	22.8	1.8	14.8	0.5	4.1
	女性	478	29.3	2.7	14.4	1.5	6.7
	答えたくない	8	75.0	-	-	-	-
	無回答等	10	20.0	-	10.0	-	50.0
年齢別	18～29歳	66	39.4	3.0	6.1	-	-
	30～39歳	51	31.4	3.9	2.0	-	3.9
	40～49歳	96	31.3	4.2	1.0	1.0	3.1
	50～59歳	136	28.7	4.4	5.9	-	2.2
	60～69歳	186	30.1	2.7	8.6	1.1	4.8
	70～79歳	213	22.5	-	24.9	1.4	6.6
	80歳以上	126	15.9	0.8	34.9	0.8	15.1
	無回答等	8	12.5	-	-	25.0	37.5

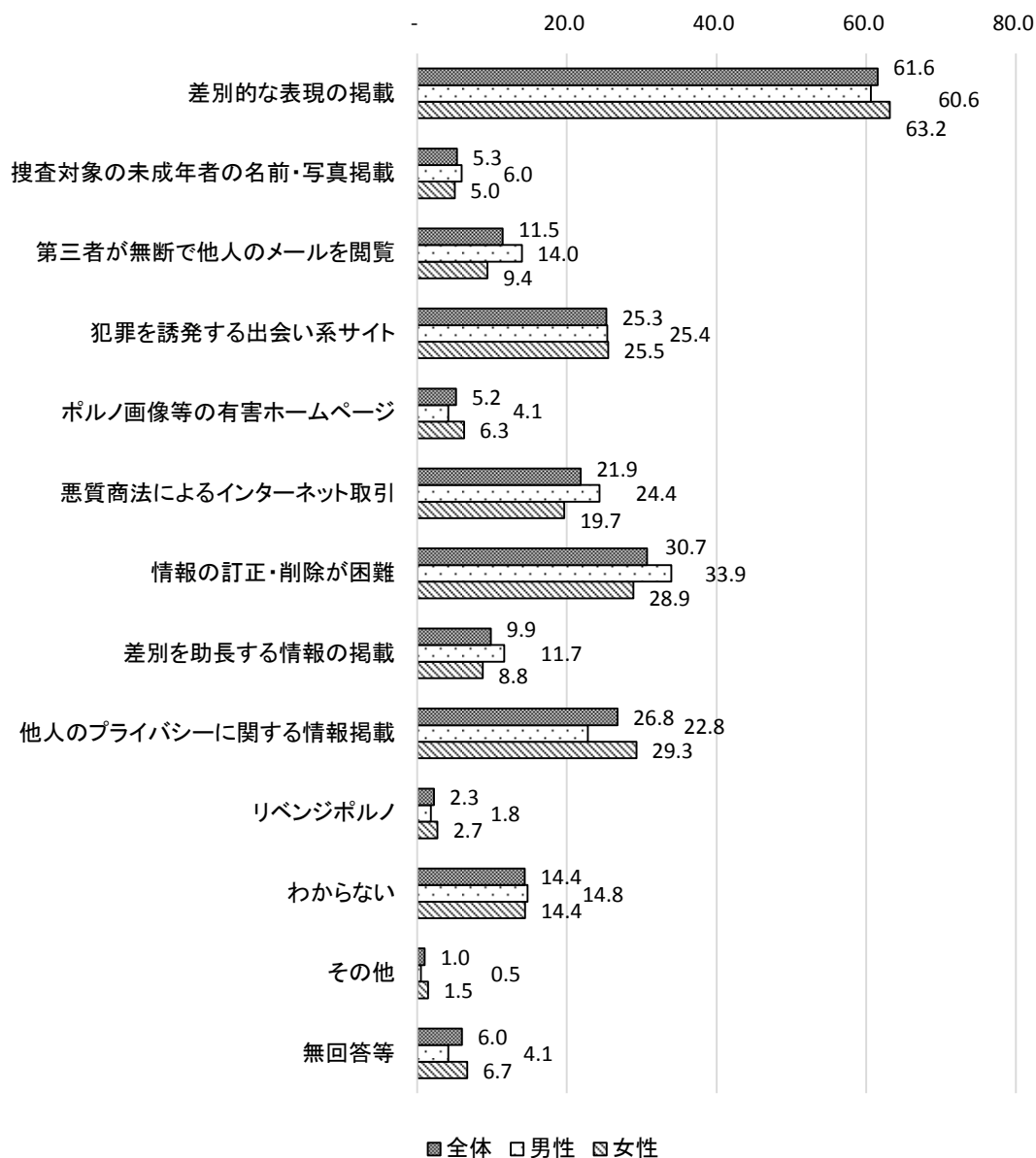
インターネットを悪用した人権上の問題をみると、「誹謗中傷や差別的な表現の掲載」が61.6%で最も高く、突出している。以下、「情報の訂正・削除が困難」(30.7%)、「他人のプライバシーに関する情報掲載」(26.8%)、「犯罪を誘発する場となる出会い系サイト」(25.3%)、「悪質商法によるインターネット取引」(21.9%)と続いている。

性別でみると、「情報の訂正・削除が困難」の割合は男性が女性よりも5.0ポイン

ト高いのに対し、「他人のプライバシーに関する情報掲載」の割合は女性が男性よりも6.5ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「差別的な表現の掲載」の割合が全年齢層で非常に高く、「情報の訂正・削除が困難」の割合は若年層から中年層で高くなっている。

図12 (問19) インターネットを悪用した人権侵害について、特に問題があると思われるのは



【兵庫県人権意識調査との比較】

本町の調査では「情報の訂正・削除が困難」の割合が30.7%と、県より13.8ポイント、「リベンジポルノ」の割合が2.3%と、県より10.2ポイント、それぞれ低くなっている。

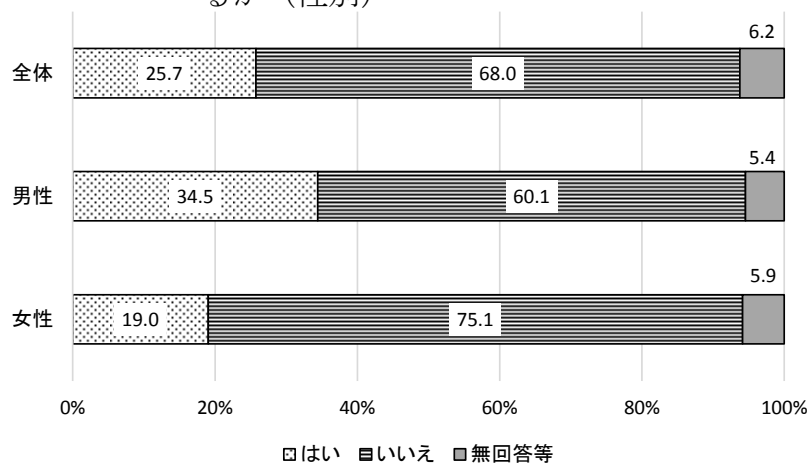
第3章 部落差別（同和問題）に関する意識

(1) 多可町部落差別解消推進条例の施行について

表 21 （問 20）多可町部落差別解消推進条例の施行されたことについて知っているか

属性		回答者数	はい	いいえ	無回答等
全体		882	25.7	68.0	6.2
性別	男性	386	34.5	60.1	5.4
	女性	478	19.0	75.1	5.9
	答えたくない	8	12.5	75.0	12.5
	無回答等	10	20.0	30.0	50.0
年齢別	18～29歳	66	3.0	97.0	-
	30～39歳	51	17.6	82.4	-
	40～49歳	96	17.7	80.2	2.1
	50～59歳	136	19.1	79.4	1.5
	60～69歳	186	32.8	62.4	4.8
	70～79歳	213	32.9	58.2	8.9
	80歳以上	126	32.5	51.6	15.9
	無回答等	8	12.5	50.0	37.5

図 13 （問 20）多可町部落差別解消推進条例の施行されたことについて知っているか（性別）



多可町部落差別解消推進条例が施行されたことを知っているかの問題に関しては、「いいえ」が68.0%と「はい」(25.7%)を大きく上回っている。

性別でみると、「はい」の割合は男性(34.5%)が女性(19.0%)よりも15.5ポイント高くなっている。

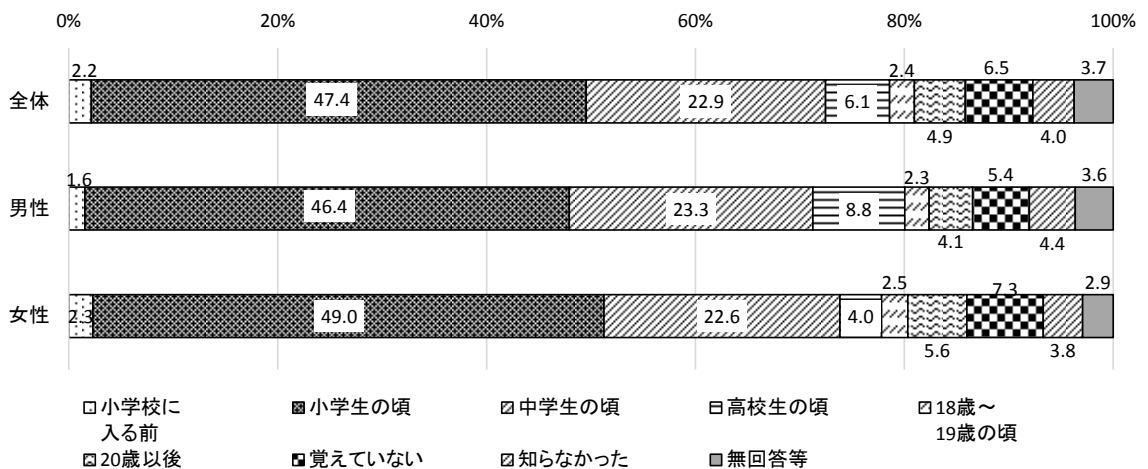
年齢別でみると、「はい」の割合は70～79歳が32.9%で最も高く、次いで60～69歳(32.8%)、80歳以上(32.5%)の順となっており、高齢者層で高くなっている。その一方で、18～29歳が3.0%で最も低く、次いで30～39歳(17.6%)、40～49歳(17.7%)と低い傾向にある。

(2) 部落差別（同和問題）を受けている地区があることを、はじめて知った時期

表 22 （問 21）部落差別（同和問題）を受けている地区があることを、はじめて知った時期

属性		回答者数	入る小学校に 小学校生の頃	小学生の頃	中学生の頃	高校生の頃	歳の8頃 19	20歳以後	覚えていない	知らなかった	無回答等
全体		882	2.2	47.4	22.9	6.1	2.4	4.9	6.5	4.0	3.7
性別	男性	386	1.6	46.4	23.3	8.8	2.3	4.1	5.4	4.4	3.6
	女性	478	2.3	49.0	22.6	4.0	2.5	5.6	7.3	3.8	2.9
	答えたくない	8	25.0	37.5	12.5	12.5	-	-	12.5	-	-
	無回答等	10	-	20.0	30.0	-	-	-	-	-	50.0
年齢別	18～29歳	66	-	31.8	18.2	10.6	3.0	3.0	10.6	21.2	1.5
	30～39歳	51	-	54.9	11.8	3.9	2.0	3.9	13.7	9.8	-
	40～49歳	96	1.0	80.2	9.4	-	-	2.1	1.0	5.2	1.0
	50～59歳	136	1.5	66.9	16.2	4.4	1.5	1.5	4.4	2.2	1.5
	60～69歳	186	1.1	45.2	34.4	5.9	4.8	3.8	2.7	1.1	1.1
	70～79歳	213	4.7	33.3	29.1	10.3	2.3	8.0	6.6	1.4	4.2
	80歳以上	126	3.2	34.9	19.8	4.0	1.6	8.7	13.5	2.4	11.9
	無回答等	8	-	25.0	25.0	12.5	-	-	-	-	37.5

図 14 （問 21）部落差別（同和問題）を受けている地区があることを、はじめて知った時期（性別）



部落差別（同和問題）を受けている地区があることを、はじめて知った時期をみると、「小学生の頃」が47.4%で最も高く、次いで「中学生の頃」（22.9%）、「覚えていない」（6.5%）、「高校生の頃」（6.1%）の順となっている。

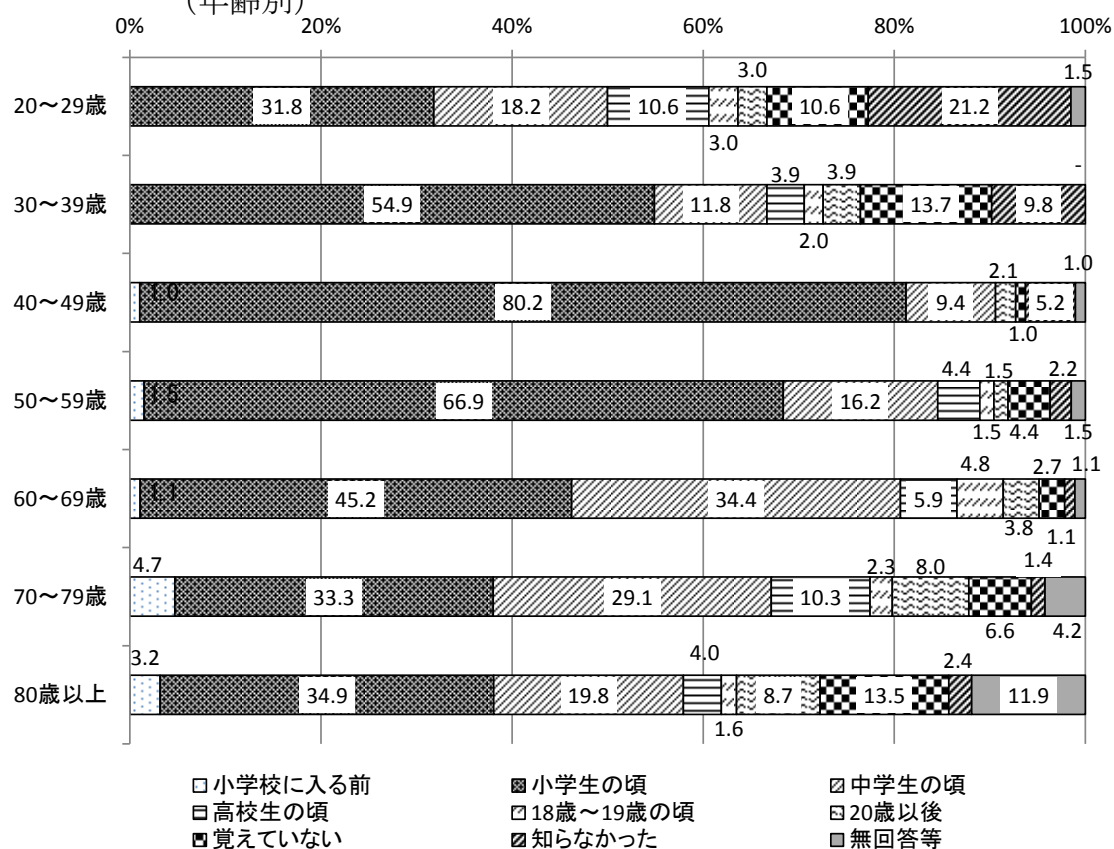
性別で見ると、いずれの項目も男女間の差が5ポイント以内に収まっており、大きな差異はない。

年齢別で見ると、「小学生の頃」の割合は40～49歳が80.2%で最も高く、次いで50～59歳（66.9%）、30～39歳（54.9%）、60～69歳（45.2%）の順となっている。

「中学生の頃」の割合は60～69歳が34.4%で最も高く、次いで70～79歳（29.1%）、80歳以上（19.8%）の順となっている。はじめて知った時期を「覚えていない」は

30～39歳が13.7%で最も高く、次いで80歳以上（13.5%）の順となっている。また「知らなかった」は18～29歳が21.2%で最も高くなっている。

図 15 (問 21) 部落差別 (同和問題) を受けている地区をはじめて知った時期 (年齢別)



(3) 部落差別 (同和問題) をはじめて知ったきっかけ

表 23-1 (問 22) 部落差別 (同和問題) をはじめて知ったきっかけ (その1)

属性		回答者数	か父 ら母 聞や い家 た族	聞近 い所 たの 人 か ら	か学 ら校 聞の い友 ただ ち	聞職 い場 たの 人 か ら	教学 わ校 つの た授 業 で	会講 演会 、 研 修	広町 報行 紙政 な の	ビ新 、聞 本等 、テ レ
全体		882	23.7	4.4	9.9	2.2	33.8	2.9	0.9	1.8
性別	男性	386	23.6	7.0	9.1	2.8	31.3	2.8	1.0	1.6
	女性	478	24.3	2.3	10.7	1.7	35.8	3.1	0.8	2.1
	答えたくない	8	12.5	-	12.5	-	50.0	-	-	-
	無回答等	10	10.0	10.0	-	-	20.0	-	-	-
年齢別	18～29歳	66	18.2	1.5	6.1	1.5	43.9	-	-	1.5
	30～39歳	51	15.7	-	3.9	5.9	45.1	2.0	-	-
	40～49歳	96	12.5	1.0	2.1	1.0	72.9	-	2.1	-
	50～59歳	136	22.8	-	2.2	0.7	60.3	0.7	-	0.7
	60～69歳	186	29.0	2.7	8.1	1.6	37.1	3.8	1.6	3.2
	70～79歳	213	29.6	8.5	18.8	2.8	6.6	5.2	0.9	2.3
	80歳以上	126	22.2	11.1	15.9	3.2	7.1	4.8	0.8	2.4
	無回答等	8	12.5	-	12.5	-	25.0	-	-	-

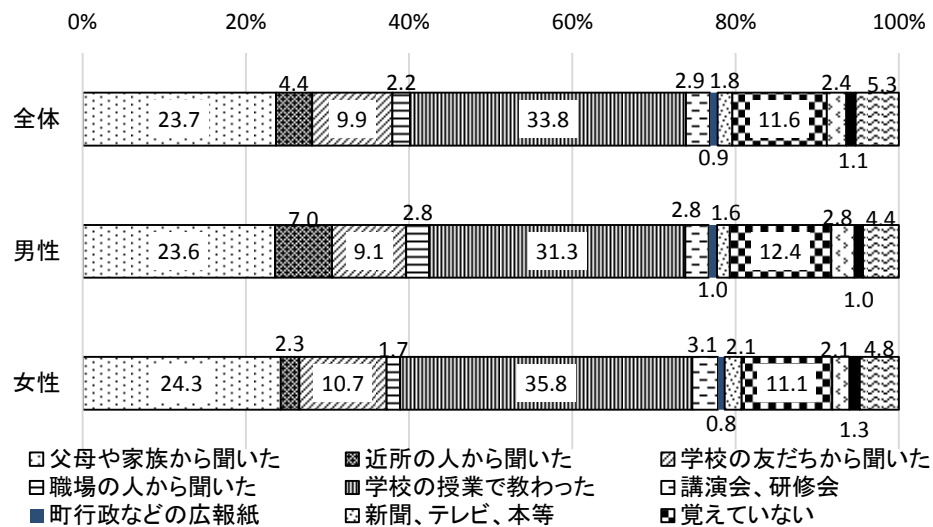
表 23-2 (問 22) 部落差別 (同和問題) をはじめて知ったきっかけ (その 2)

属性		回答者数	覚えていない	知らなかった	その他	無回答等
全 体		882	11.6	2.4	1.1	5.3
性別	男性	386	12.4	2.8	1.0	4.4
	女性	478	11.1	2.1	1.3	4.8
	答えたくない	8	12.5	-	-	12.5
	無回答等	10	-	-	-	60.0
年齢別	18～29歳	66	7.6	18.2	1.5	-
	30～39歳	51	19.6	3.9	-	3.9
	40～49歳	96	4.2	3.1	-	1.0
	50～59歳	136	7.4	1.5	1.5	2.2
	60～69歳	186	9.1	0.5	0.5	2.7
	70～79歳	213	16.4	0.5	0.9	7.5
	80歳以上	126	16.7	-	2.4	13.5
	無回答等	8	-	-	12.5	37.5

部落差別 (同和問題) があることを、はじめて知ったきっかけをみると、「学校の授業で教わった」が 33.8% で最も高く、次いで「父母や家族から聞いた」(23.7%)、「覚えていない」(11.6%) の順となっている。

性別でみると、「近所の人から聞いた」の割合は 4.7 ポイント、男性が女性よりも高いのに対し、「学校の授業で教わった」の割合は 4.5 ポイント、女性が男性よりも高くなっているが、他の問いを含めて大きな差異は見られない。

図 16 (問 22) 部落差別 (同和問題) をはじめて知ったきっかけ (性別)



年齢別でみると、「学校の授業で教わった」の割合は 40～49 歳が 72.9% で最も高

く、次いで50～59歳（60.3%）、30～39歳（45.1%）、18～29歳（43.9%）の順となっている。「父母や家族から聞いた」は70～79歳が29.6%で最も高く、次いで60～69歳（29.0%）、50～59歳（22.8%）、80歳以上（22.2%）の順となっている。また「知らなかった」は18～29歳が18.2%で最も高くなっている。

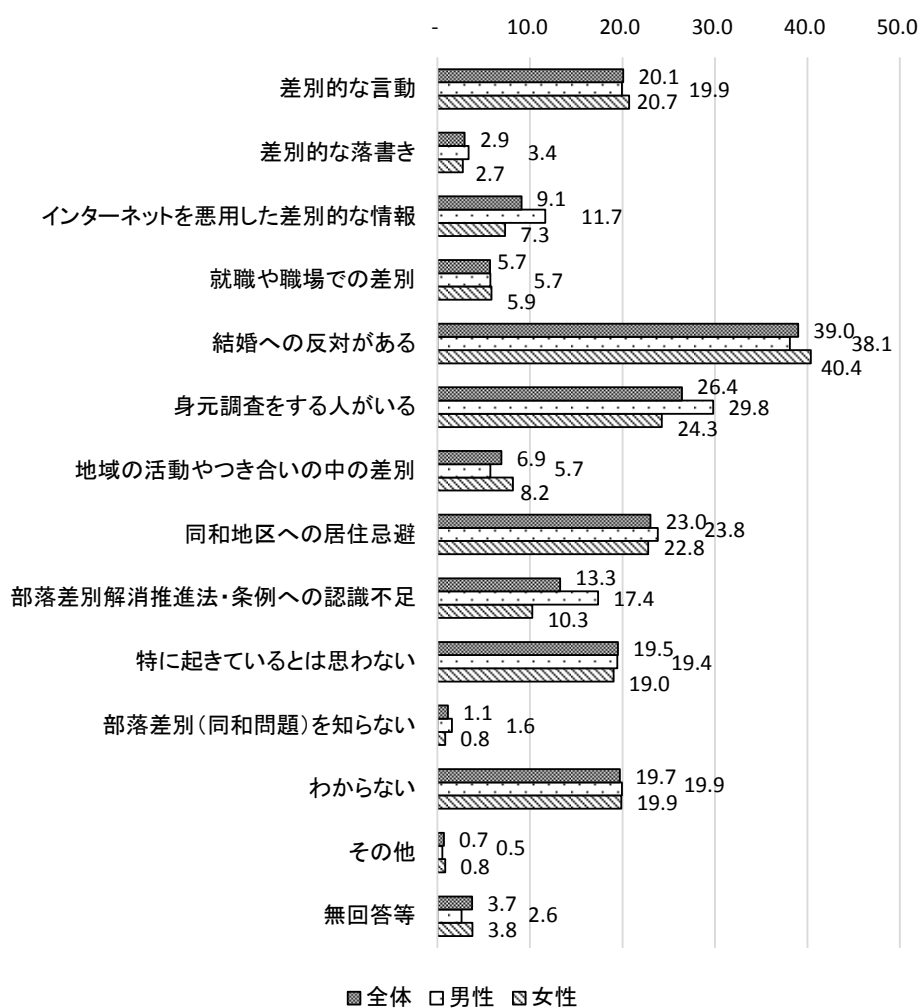
(4) 部落差別（同和問題）に関して、今、起きている人権問題

表24 （問23）部落差別（同和問題）に関して、今、特にどのような人権問題が起きていると思うか（○はいくつでも）

属性		回答者数	差別的な言動	差別的な落書き	トイを悪用しネット	就職や職場での差別	結婚への反対	身元が調査をす	地域別の活動中や
全体		882	20.1	2.9	9.1	5.7	39.0	26.4	6.9
性別	男性	386	19.9	3.4	11.7	5.7	38.1	29.8	5.7
	女性	478	20.7	2.7	7.3	5.9	40.4	24.3	8.2
	答えたくない	8	-	-	-	-	12.5	25.0	-
	無回答等	10	10.0	-	-	-	30.0	-	-
年齢別	18～29歳	66	31.8	1.5	9.1	9.1	34.8	24.2	21.2
	30～39歳	51	31.4	2.0	2.0	7.8	51.0	29.4	13.7
	40～49歳	96	24.0	6.3	16.7	7.3	38.5	37.5	13.5
	50～59歳	136	19.9	2.2	11.0	5.1	48.5	32.4	5.9
	60～69歳	186	17.2	4.8	12.9	5.4	45.7	29.0	3.8
	70～79歳	213	16.9	2.3	7.0	5.6	31.9	21.1	4.7
	80歳以上	126	16.7	0.8	2.4	3.2	28.6	18.3	1.6
	無回答等	8	12.5	-	-	-	37.5	-	-

属性		回答者数	同居和忌地区への	推進認識不足	部落差別解消	特別な起きていると思わない	同和問題を知らない	わからない	その他	無回答等
全体		882	23.0	13.3	19.5	1.1	19.7	0.7	3.7	
性別	男性	386	23.8	17.4	19.4	1.6	19.9	0.5	2.6	
	女性	478	22.8	10.3	19.0	0.8	19.9	0.8	3.8	
	答えたくない	8	12.5	-	50.0	-	25.0	-	-	
	無回答等	10	10.0	10.0	20.0	-	-	-	50.0	
年齢別	18～29歳	66	10.6	10.6	7.6	3.0	28.8	1.5	-	
	30～39歳	51	29.4	9.8	5.9	-	17.6	2.0	-	
	40～49歳	96	32.3	19.8	13.5	2.1	14.6	1.0	-	
	50～59歳	136	24.3	12.5	16.2	-	15.4	0.7	2.2	
	60～69歳	186	26.9	13.4	17.7	1.1	18.8	-	2.2	
	70～79歳	213	20.2	14.1	25.8	1.4	19.7	0.9	4.7	
	80歳以上	126	18.3	10.3	32.5	0.8	25.4	-	10.3	
	無回答等	8	12.5	12.5	-	-	25.0	-	37.5	

図 17 (問 23) 部落差別(同和問題)に関して、今、特にどのような人権問題が起きていると思うか



部落差別(同和問題)についてみると、「結婚への反対がある」が39.0%で最も高く、次いで「身元調査をする人がいる」(26.4%)、「同和地区への居住忌避」(23.0%)、「差別的な言動」(20.1%)の順となっている。一方、「特に起きているとは思わない」が19.5%、「わからない」が19.7%となっている。また、「部落差別(同和問題)を知らない」は1.1%となっている。

性別では、「部落差別解消推進法・条例への認識不足」の割合は7.1ポイント、「身元調査をする人がいる」の割合は5.5ポイント、「インターネットを悪用した差別的な情報」の割合は4.4ポイント、男性が女性よりもそれぞれ高くなっている。他の問いに関しては、大きな差異は見られない。

年齢別では、若年層で「差別的な言動」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

【兵庫県人権意識調査との比較】

本町の調査では、「〇はいくつでも」、県の調査では「〇は3つまで」として質問しているため、単純には回答率を比較できないが、本町では「結婚への反対がある」の割合が39.0%と、県より7.2ポイント、「身元調査をする人がいる」の割合が26.4%と、県より11.3ポイント、「特に起きているとは思わない」の割合が19.5%と、県

より 8.1 ポイントそれぞれ高くなっている。

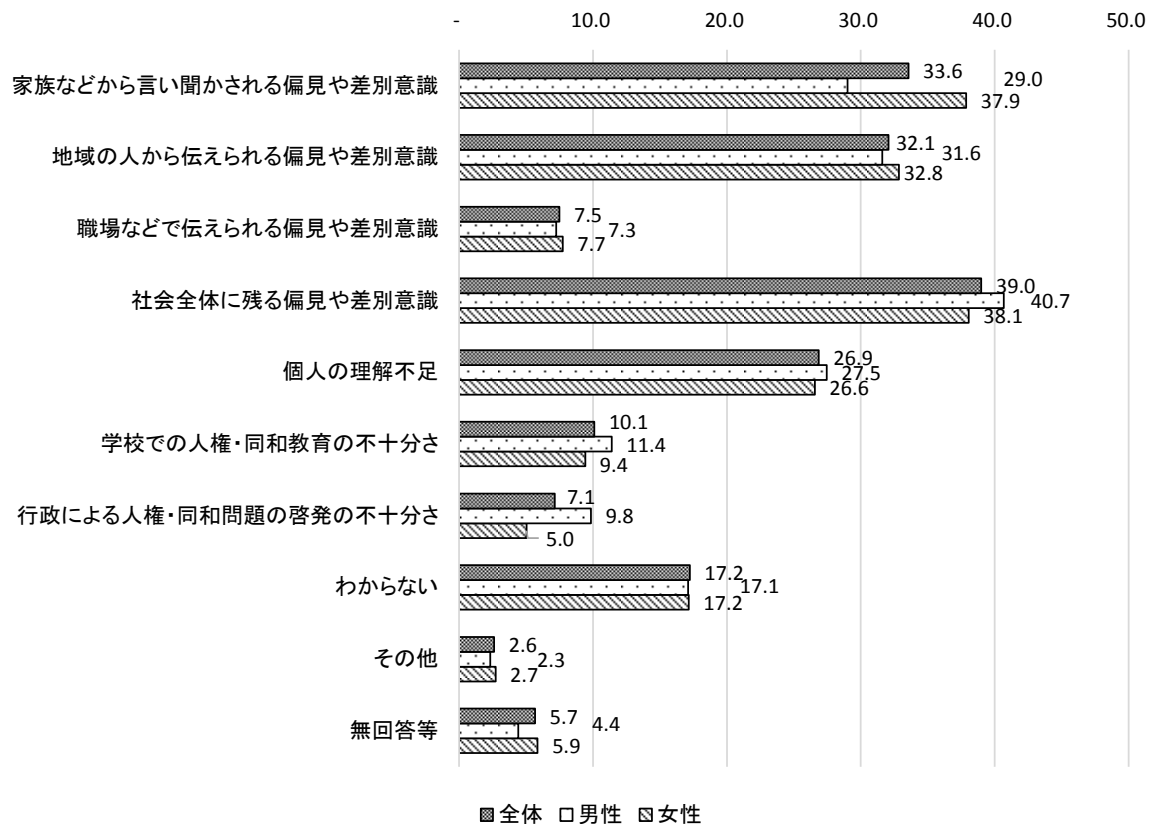
(5) 部落差別（同和問題）が生じる原因や背景として思い当たるもの

表 25 （問 24）部落差別（同和問題）が生じる原因や背景として、思い当たるもの
（○はいくつでも）

属性		回答者数	見や聞かされたい意識	家族などから偏見	差別意識	地域の人の見や伝え	別意	職場などで伝え	偏見や差別に意識	社会全体に残る	個人の理解不足	同和・教育の不十分さ	学校の人の不十分さ	人権・同和問題	わからない
全体		882	33.6	32.1	7.5	39.0	26.9	10.1	7.1	17.2					
性別	男性	386	29.0	31.6	7.3	40.7	27.5	11.4	9.8	17.1					
	女性	478	37.9	32.8	7.7	38.1	26.6	9.4	5.0	17.2					
	答えたくない	8	37.5	37.5	12.5	25.0	12.5	-	12.5	37.5					
	無回答等	10	-	10.0	-	30.0	30.0	-	-	10.0					
年齢別	18～29歳	66	45.5	37.9	12.1	18.2	22.7	15.2	12.1	31.8					
	30～39歳	51	51.0	41.2	9.8	39.2	23.5	15.7	7.8	15.7					
	40～49歳	96	44.8	37.5	7.3	36.5	24.0	15.6	10.4	12.5					
	50～59歳	136	46.3	35.3	8.8	36.8	25.0	9.6	4.4	10.3					
	60～69歳	186	37.1	29.0	4.8	55.9	34.4	11.3	6.5	12.9					
	70～79歳	213	19.2	31.9	8.5	41.3	28.2	8.5	7.5	17.8					
	80歳以上	126	18.3	23.0	5.6	26.2	19.8	3.2	5.6	27.8					
	無回答等	8	12.5	25.0	-	25.0	50.0	-	-	-					

属性		回答者数	その他	無回答等
全体		882	2.6	5.7
性別	男性	386	2.3	4.4
	女性	478	2.7	5.9
	答えたくない	8	12.5	-
	無回答等	10	-	50.0
年齢別	18～29歳	66	-	-
	30～39歳	51	2.0	3.9
	40～49歳	96	5.2	-
	50～59歳	136	4.4	3.7
	60～69歳	186	1.6	2.2
	70～79歳	213	2.3	5.6
	80歳以上	126	1.6	19.0
	無回答等	8	12.5	37.5

図 18 (問 24) 部落差別 (同和問題) が生じる原因や背景として、思い当たるもの (性別)



部落差別 (同和問題) が生じる原因や背景をとして、思い当たるものをみると、「社会全体に残る偏見や差別意識」が 39.0% で最も高く、次いで「家族などから言い聞かされる偏見や差別意識」(33.6%)、「地域の人から伝えられる偏見や差別意識」(32.1%)、「個人の理解不足」(26.9%) の順となっており、「わからない」は 17.2% となっている。

性別で見ると、「人権・同和問題の啓発行政の不十分さ」の割合は男性が女性よりも 4.8 ポイント高い。一方「家族などから聞かされる偏見や差別意識」の割合は女性が男性よりも 8.9 ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「社会全体に残る偏見や差別意識」の割合は 60～69 歳が 55.9% で最も高く、次いで 70～79 歳 (41.3%)、30～39 歳 (39.2%) の順となっている。「家族などから言い聞かされる偏見や差別意識」の割合は 30～39 歳が 51.0% で最も高く、次いで 50～59 歳が 46.3% となっている。「地域の人から伝えられる偏見や差別意識」の割合は 30～39 歳が 41.2%、「個人の理解不足」の割合は 60～69 歳が 34.4% でそれぞれ最も高くなっている。「わからない」は 18～29 歳が 31.8% で最も高くなっている。

【兵庫県人権意識調査との比較】

本町の調査では「○はいくつでも」、県の調査では「○は 1 つまで」として質問し

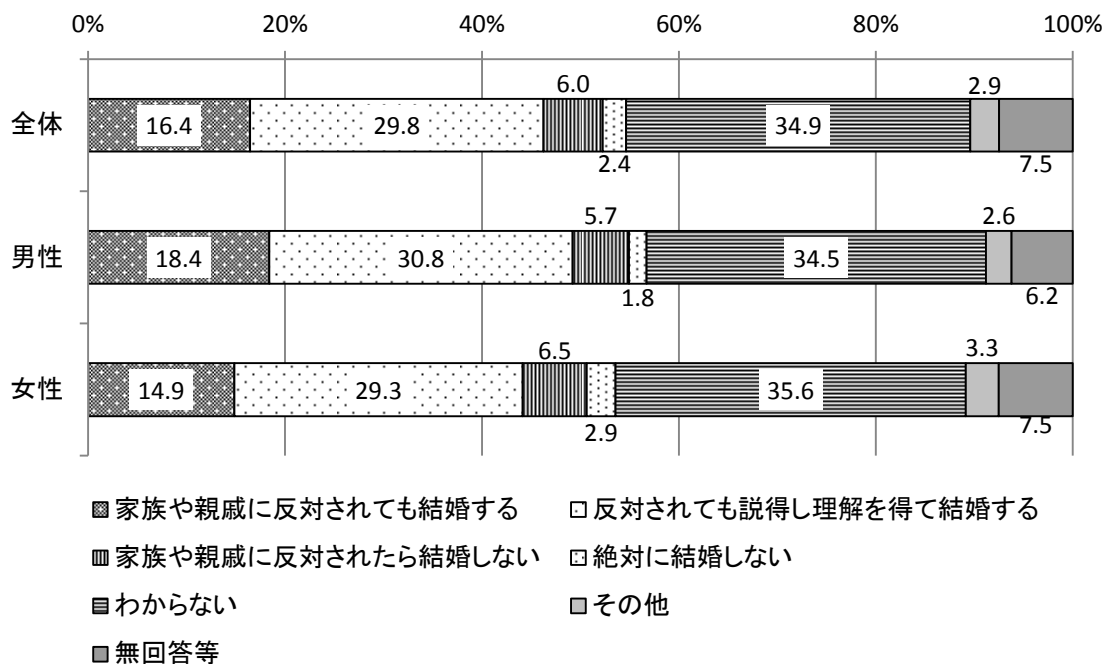
ているので単純には回答率を比較できないが、県の調査は「家族などから言い聞かされる偏見や差別意識」(33.6%)の割合が最も高く、次いで「社会全体に残る偏見や差別意識」(20.8%)「地域の人から伝えられる偏見や差別意識」(13.6%)の順となっている。

(6) 結婚相手が「同和地区」の人であった場合の行動

表 26 (問 25 (1)) 結婚しようとする相手が「同和地区」の人であると分かった場合、どうするか

属性		回答者数	結婚する 家族や親戚に反対されても	反対されても結婚する 家族や親戚に反対されても	反対されても結婚しない 家族や親戚に反対されても	絶対に結婚しない	わからない	その他	無回答等
全体		882	16.4	29.8	6.0	2.4	34.9	2.9	7.5
性別	男性	386	18.4	30.8	5.7	1.8	34.5	2.6	6.2
	女性	478	14.9	29.3	6.5	2.9	35.6	3.3	7.5
	答えたくない	8	25.0	12.5	-	-	50.0	-	12.5
	無回答等	10	10.0	30.0	-	-	10.0	-	50.0
年齢別	18～29歳	66	22.7	33.3	1.5	-	36.4	1.5	4.5
	30～39歳	51	19.6	33.3	3.9	2.0	25.5	7.8	7.8
	40～49歳	96	22.9	30.2	1.0	3.1	37.5	5.2	-
	50～59歳	136	16.9	39.7	6.6	2.9	28.7	2.2	2.9
	60～69歳	186	17.2	36.0	4.8	3.2	32.8	1.1	4.8
	70～79歳	213	11.3	24.9	9.4	1.9	38.5	4.2	9.9
	80歳以上	126	13.5	15.1	8.7	2.4	41.3	1.6	17.5
	無回答等	8	25.0	25.0	-	-	12.5	-	37.5

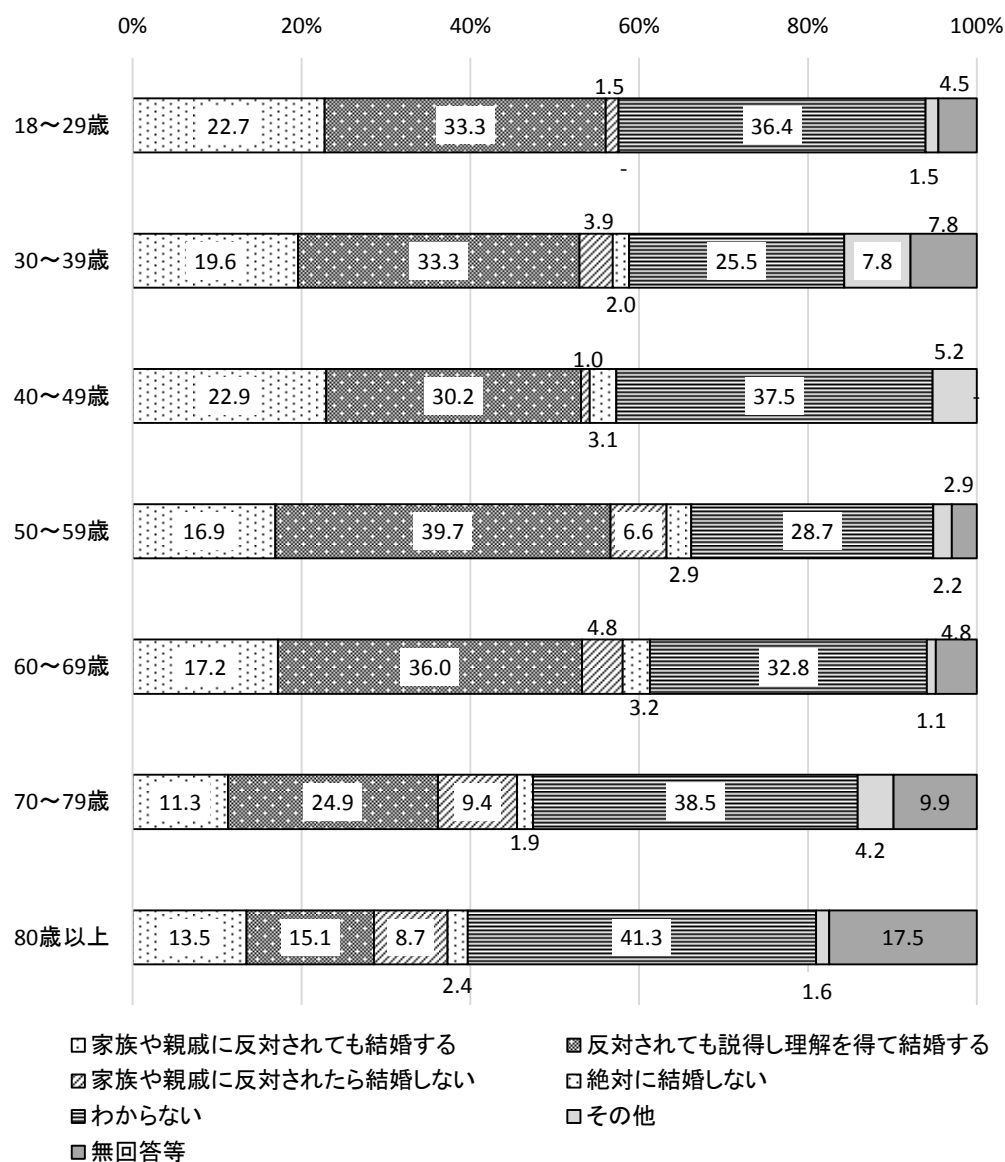
図 19 (問 25 (1)) 結婚しようとする相手が「同和地区」の人であると分かった場合、どうするか (性別)



結婚相手が「同和地区」の人であった場合の行動をみると、「反対されても説得し理解を得て結婚する」が29.8%で最も高く、『反対されても結婚する（計）』（「家族や親戚に反対されても結婚する」と「反対されても説得し理解を得て結婚する」を合わせた割合。以下同様）が46.2%と『結婚しない（計）』（「家族や親戚に反対されたら結婚しない」と「絶対に結婚しない」を合わせた割合。以下同様）（8.4%）を大きく上回っており、「わからない」が34.9%となっている。

性別でみると、「家族や親戚に反対されても結婚する」の割合は、男性が女性よりも3.5ポイント高くなっているが、他の間についても2.0ポイント以内に収まっており、大きな差異はない。

図20 （問25（1））結婚しようとする相手が「同和地区」の人であると分かった場合、どうするか（年齢別）



年齢別でみると、『反対されても結婚する（計）』の割合は50～59歳が56.6%で

最も高く、次いで18～29歳(56.0%)、60～69歳(53.2%)の順となっている。『結婚しない(計)』は70～79歳が11.3%で最も高く、次いで80歳以上(11.1%)の順となっている。また「わからない」は80歳以上で41.3%と最も高くなっている。

【兵庫県人権意識調査との比較】

本町では「反対されても説得し理解を得て結婚する」の割合が29.8%と、県より3.5ポイント低い。全体をとおして概ね同傾向であり、大きな差異はみられない。

(7) 子どもの結婚相手が「同和地区」の人の場合の行動

表27 (問25(2)) 子どもが結婚しようとする相手が「同和地区」の人であると分かった場合、どうするか

属性	回答者数	を子ども尊重する意思	勇た気めづらけつるたら	対親すとるしては反	認めればない結婚を	認めればない結婚を	絶対になに結婚を	わからない	その他	無回答等
全体	882	56.5	2.0	12.0	1.6	1.0	19.0	1.8	6.0	
性別	男性	386	57.3	2.1	13.2	1.6	0.5	17.4	2.1	6.0
	女性	478	56.5	2.1	11.5	1.7	1.5	20.1	1.7	5.0
	答えたくない	8	25.0	-	-	-	-	50.0	-	25.0
	無回答等	10	50.0	-	-	-	-	10.0	-	40.0
年齢別	18～29歳	66	56.1	1.5	3.0	-	-	28.8	3.0	7.6
	30～39歳	51	54.9	-	5.9	-	-	29.4	2.0	7.8
	40～49歳	96	60.4	3.1	7.3	2.1	-	21.9	3.1	2.1
	50～59歳	136	66.2	2.9	8.8	0.7	2.2	16.2	0.7	2.2
	60～69歳	186	62.4	2.2	11.8	1.1	1.1	15.1	0.5	5.9
	70～79歳	213	50.7	2.3	18.3	2.3	0.9	16.9	1.9	6.6
	80歳以上	126	45.2	0.8	16.7	3.2	1.6	20.6	3.2	8.7
	無回答等	8	50.0	-	-	-	-	12.5	-	37.5

子どもの結婚相手が「同和地区」の人であった場合の行動をみると、「子どもの意思を尊重する」が56.5%で最も高く、これに「ためらったら勇気づける」(2.0%)を合わせた『賛成(計)』が58.5%となっている。これに対し、「親としては反対する」が12.0%で、「周囲の反対があれば結婚を認めない」(1.6%)、「絶対に結婚を認めない」(1.0%)を合わせた『反対(計)』は14.6%で、「わからない」が19.0%となっている。

性別でみると、すべての項目で大きな差異は見られなかった。

年齢別でみると、『賛成(計)』の割合は50～59歳が69.1%で最も高くなっている。『反対(計)』は70～79歳が21.5%で最も高くなっている。また、「わからない」の割合が30～39歳で29.4%と最も高くなっている。

【兵庫県人権意識調査との比較】

本町では「親としては反対する」の割合が12.0%と、県より5.7ポイント低く、「子どもの意思を尊重する」の割合が56.5%と、県より7.9ポイント高くなっている。

る。その他の項目は概ね同傾向であり、大きな差異はみられない。

図 21 (問 25 (2)) 子どもが結婚しようとする相手が「同和地区」の人であると分かった場合、どうするか (性別)

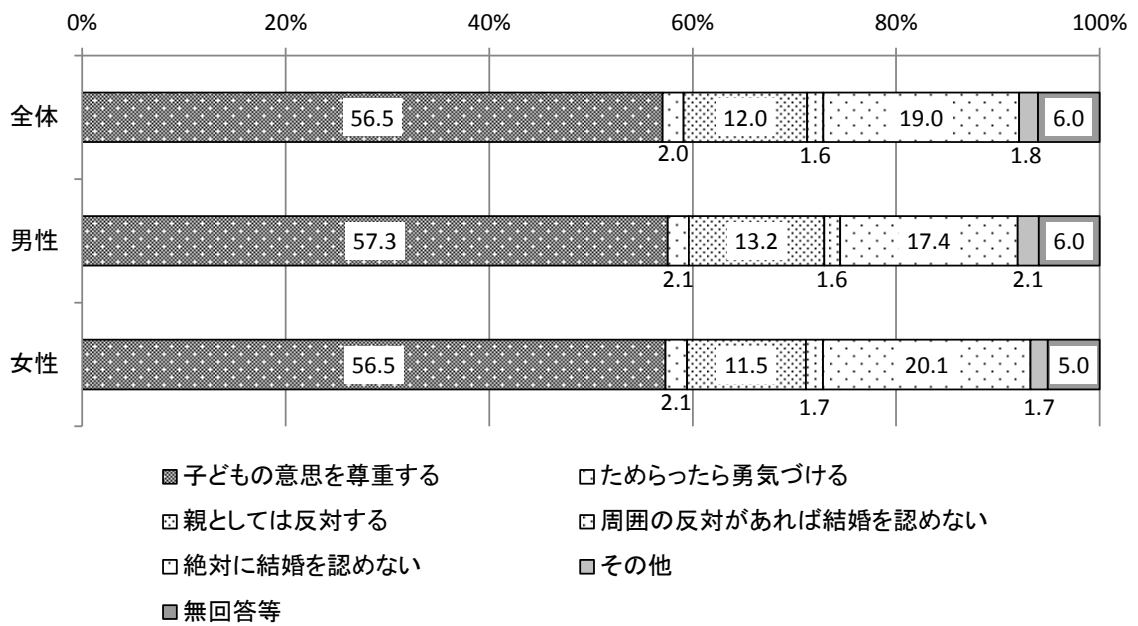
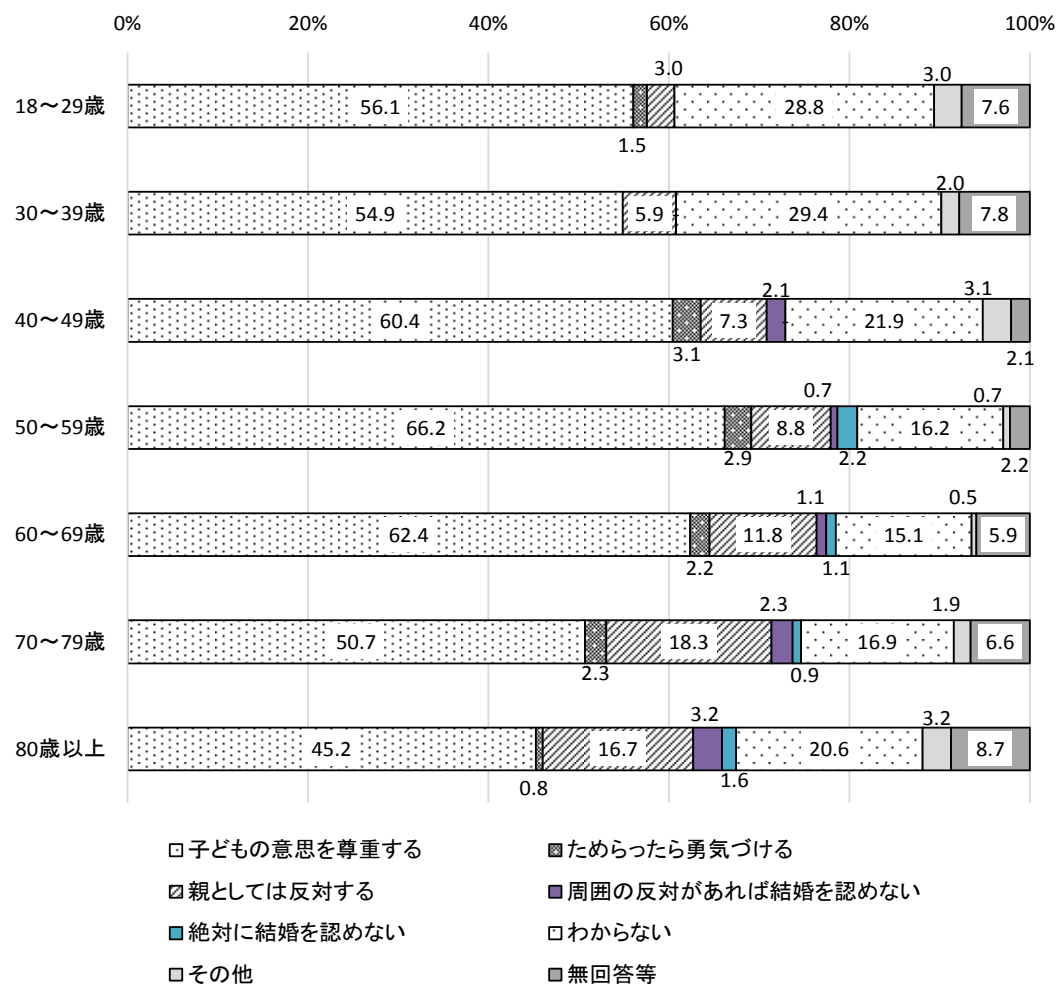


図 22 (問 25 (2)) 子どもが結婚しようとする相手が「同和地区」の人であると分かった場合、どうするか (年齢別)



(8) 部落差別（同和問題）の解決のために特に重要であると思われるもの

表 28 （問 26）部落差別（同和問題）の解決のために特に重要であると思われるもの（○は3つまで）

属性		回答者数	権学・校同での和の教人育	活権行動・政同による啓発	を話人権相増やすの窓や口電	境換をが整えける環	自由な意見交換	禁止別する法律で	す流住の民相を互増のや交	くけそつと自然になお	その他	無回答等
全体		882	32.2	21.1	10.1	29.5	15.9	20.6	27.2	4.2	7.1	
性別	男性	386	33.9	22.8	10.6	29.8	14.0	20.7	26.9	3.6	5.2	
	女性	478	30.8	20.1	9.6	29.7	17.4	20.7	27.6	4.6	7.9	
	答えたくない	8	37.5	25.0	25.0	12.5	12.5	-	25.0	12.5	12.5	
	無回答等	10	30.0	-	-	20.0	20.0	30.0	20.0	-	40.0	
年齢別	18～29歳	66	50.0	28.8	10.6	12.1	27.3	12.1	27.3	3.0	4.5	
	30～39歳	51	43.1	29.4	9.8	29.4	19.6	23.5	13.7	-	5.9	
	40～49歳	96	32.3	20.8	11.5	25.0	16.7	20.8	28.1	3.1	4.2	
	50～59歳	136	37.5	21.3	11.8	18.4	25.0	13.2	24.3	6.6	4.4	
	60～69歳	186	29.0	20.4	11.3	39.8	13.4	20.4	26.3	6.5	5.4	
	70～79歳	213	28.6	16.9	9.9	35.7	11.3	27.7	27.7	3.3	8.5	
	80歳以上	126	23.0	23.0	6.3	28.6	7.9	19.8	37.3	3.2	12.7	
	無回答等	8	37.5	-	-	25.0	37.5	25.0	-	-	37.5	

部落差別（同和問題）の解決のために特に重要であると思われるものをみると、「学校での人権・同和教育」が32.2%で最も高く、次いで「自由な意見交換ができる環境を整える」（29.5%）、「そっとしておけば自然になくなる」（27.2%）、「行政による人権・同和啓発活動」（21.1%）の順となっている。

性別でみると、すべての項目で大きな差異は見られなかった。

図 23 （問 26）部落差別（同和問題）の解決のために特に重要であると思われるもの（性別）

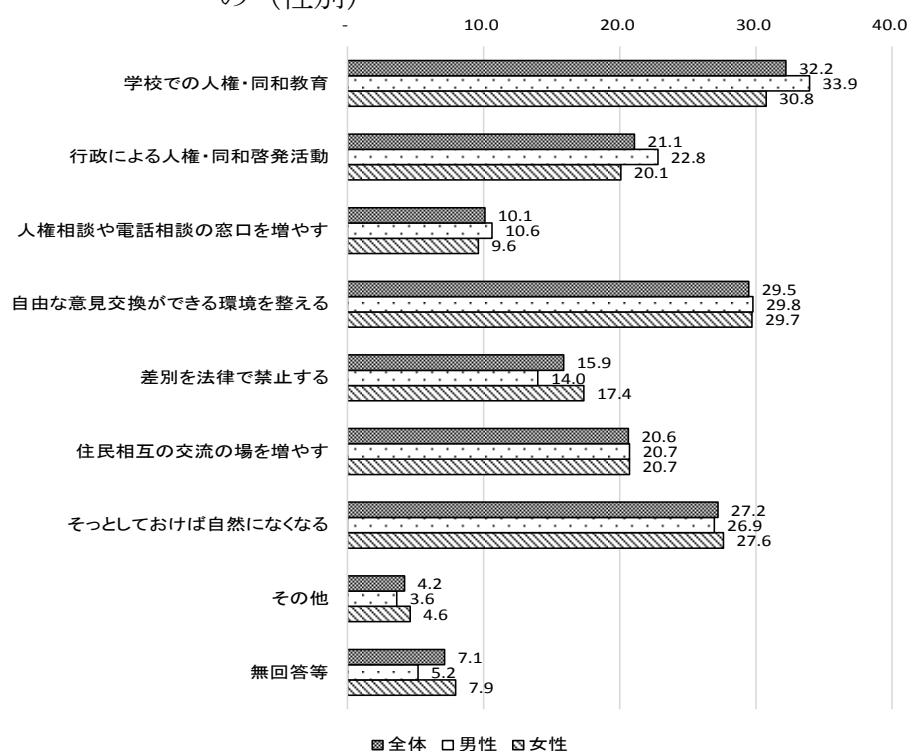
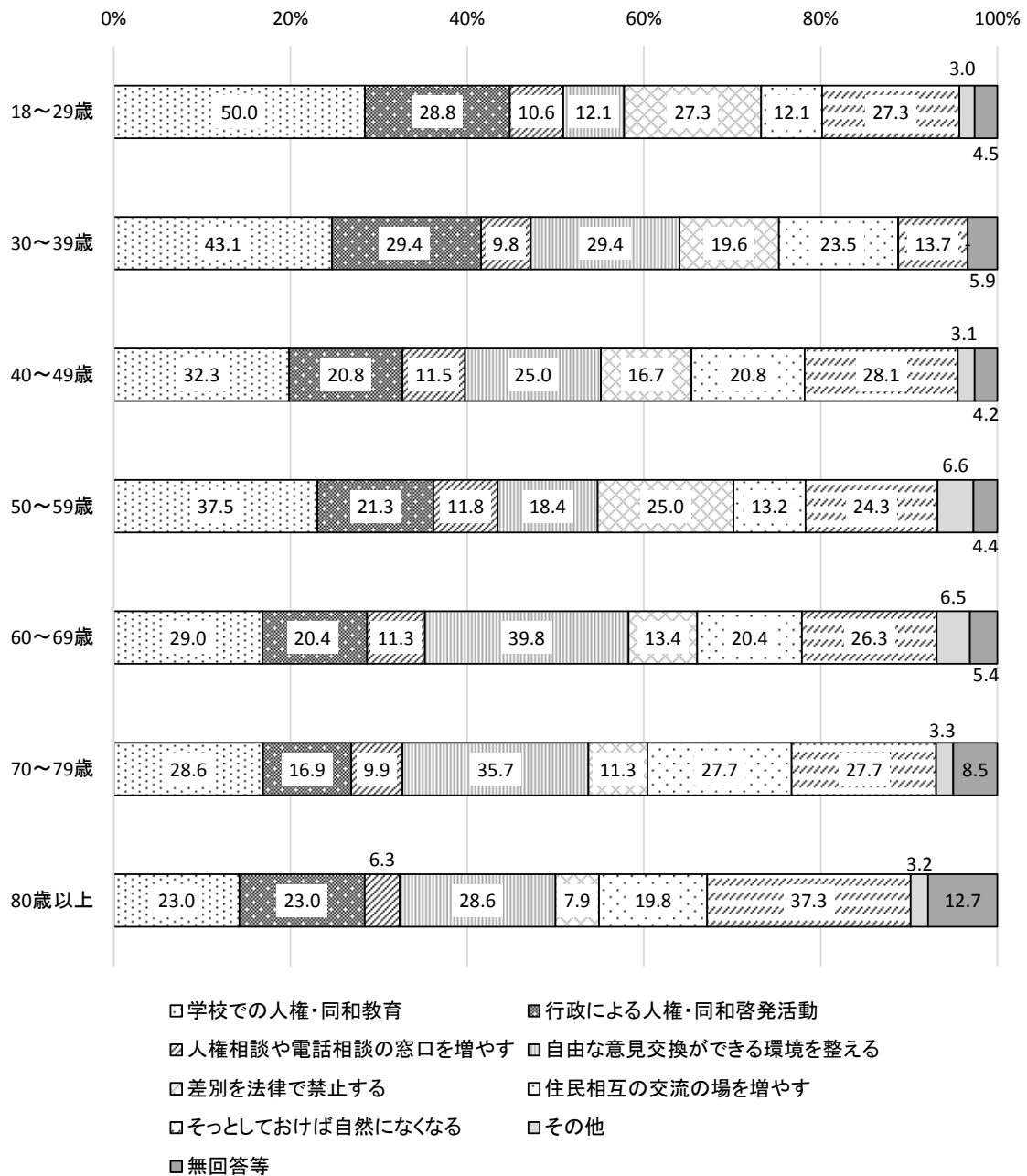


図 24 (問 26) 部落差別 (同和問題) の解決のために特に重要であると思われるもの (年齢別)



年齢別で見ると、「学校での人権・同和教育」の割合は18～29歳が50.0%で最も高く、次いで30～39歳(43.1%)、50～59歳(37.5%)の順となっている。「自由な意見交換ができる環境を整える」は60～69歳が39.8%で最も高く、次いで70～79歳(35.7%)の順となっている。また「そっとしておけば自然になくなる」は80歳以上が37.3%で最も高く、次いで40～49歳(28.1%)の順となっている。

第4章 今後の人権教育・啓発のあり方に関する意識

(1) 人権についての考え方

① 人権講演会や研修会に参加することで、人権尊重の意識は強まる

表 29 (問 27 ①) 人権講演会や研修会に参加することで、人権尊重の意識は強まる

属性		回答者数	強く そう 思う	そう 思う	え ど ち ら も 言 え な い	い そ う は 思 わ な い	全 く 思 わ な い	無 回 答 等
全 体		882	4.4	39.3	32.3	12.9	2.9	8.0
性 別	男性	386	5.2	40.4	31.3	12.7	4.1	6.2
	女性	478	3.8	39.1	33.5	13.2	1.9	8.6
	答えたくない	8	-	25.0	37.5	12.5	12.5	12.5
	無回答等	10	10.0	20.0	10.0	10.0	-	50.0
年 齢 別	18～29歳	66	3.0	39.4	39.4	13.6	3.0	1.5
	30～39歳	51	3.9	43.1	37.3	9.8	-	5.9
	40～49歳	96	4.2	43.8	29.2	13.5	7.3	2.1
	50～59歳	136	4.4	39.0	38.2	14.0	0.7	3.7
	60～69歳	186	4.3	42.5	30.6	11.8	4.3	6.5
	70～79歳	213	3.3	36.2	32.9	16.9	0.9	9.9
	80歳以上	126	7.1	37.3	26.2	7.1	4.0	18.3
	無回答等	8	12.5	12.5	-	12.5	12.5	50.0

「人権講演会や研修会に参加することで、人権尊重の意識は強まる」についての考えをみると、『そう思う(計)』(「強くそう思う」と「そう思う」を合わせた割合。以下同様)が43.7%と『そうは思わない(計)』(「全く思わない」と「そうは思わない」を合わせた割合。以下同様)(15.8%)を上回っており、「どちらとも言えない」が32.3%となっている。

性別でみると、『そう思う(計)』の割合は男性45.6%、女性42.9%と大きな差異はない。「どちらとも言えない」『そう思わない(計)』についても同様に差異はない。

年齢別でみると、『そう思う(計)』は40～49歳が48.0%で最も高く、次いで30～39歳(47.0%)の順で、70～79歳が39.5%で最も低い。

【兵庫県人権意識調査との比較】

『そう思う(計)』の割合が本町では43.7%と、県より2.9ポイント低い、「どちらとも言えない」『そう思わない(計)』を含めて大きな差異はない。

② 競争社会だから能力による格差が生じるのは仕方がない

表 30 (問 27 ②) 競争社会だから能力による格差が生じるのは仕方がない

属性		回答者数	強く そう 思う	そう 思う	えど ち い ら と も 言 え ない	い そ う は 思 わ な い	全 く 思 わ な い	無 回 答 等
全 体		882	3.4	45.9	27.4	13.2	2.3	7.8
性 別	男性	386	4.9	46.9	27.5	11.9	2.1	6.7
	女性	478	2.1	44.8	28.2	14.4	2.5	7.9
	答えたくない	8	-	62.5	12.5	12.5	-	12.5
	無回答等	10	10.0	50.0	-	-	-	40.0
年 齢 別	18～29歳	66	9.1	45.5	27.3	15.2	1.5	1.5
	30～39歳	51	2.0	49.0	31.4	7.8	3.9	5.9
	40～49歳	96	7.3	54.2	26.0	9.4	2.1	1.0
	50～59歳	136	2.9	50.7	28.7	11.8	1.5	4.4
	60～69歳	186	2.7	45.2	31.7	12.4	2.2	5.9
	70～79歳	213	0.9	45.1	26.3	16.9	1.4	9.4
	80歳以上	126	4.0	36.5	23.0	14.3	4.0	18.3
	無回答等	8	-	37.5	-	-	12.5	50.0

「競争社会だから能力による格差が生じるのは仕方がない」についての考えをみると、『『そう思う (計)』(「強くそう思う」と「そう思う」を合わせた割合。以下同様)が 49.3%と『『そうは思わない (計)』(「全く思わない」と「そうは思わない」を合わせた割合。以下同様) (15.5%) を上回っており、「どちらとも言えない」が 27.4%となっている。

性別でみると、『『そう思う (計)』の割合は男性が 51.8%と女性 (46.9%) よりも 4.9 ポイント高くなっている。また、「どちらとも言えない」は男性が 27.5%、女性 28.2%とほとんど差異はない。

年齢別でみると、『『そう思う (計)』は 40～49 歳が 61.5%で最も高く、次いで 18～29 歳 (54.6%) の順となっており、80 歳以上が 40.5%で最も低い。

【兵庫県人権意識調査との比較】

『『そう思う (計)』の割合が本町では 49.3%と、県より 9.1 ポイント低くなっているのに対し、『『そうは思わない (計)』の割合は、本町では 15.5%と県とほぼ同様のポイントとなっている。

③ 家庭等で、幼い頃からものごとの善悪や決まり事の大切さを教えることが重要だ

表 31 (問 27 ③) 家庭や地域で、幼い頃からものごとの善悪や決まり事の大切さを教えることが重要だ

属性	回答者数	強く そう 思う	そう 思う	え ど ち ら も 言 え な い	い そ う は 思 わ な い	全 く 思 わ な い	無 回 答 等	
全 体	882	29.9	51.9	8.6	1.5	0.1	7.9	
性 別	男性	386	27.5	54.9	9.3	1.6	-	6.7
	女性	478	32.4	49.8	8.2	1.3	0.2	8.2
	答えたくない	8	12.5	62.5	-	12.5	-	12.5
	無回答等	10	20.0	30.0	10.0	-	-	40.0
年 齢 別	18～29歳	66	40.9	40.9	12.1	3.0	1.5	1.5
	30～39歳	51	43.1	47.1	3.9	-	-	5.9
	40～49歳	96	36.5	53.1	9.4	-	-	1.0
	50～59歳	136	36.0	47.8	12.5	-	-	3.7
	60～69歳	186	24.2	59.1	8.1	2.2	-	6.5
	70～79歳	213	23.5	56.8	7.0	1.9	-	10.8
	80歳以上	126	27.0	46.0	7.9	2.4	-	16.7
	無回答等	8	25.0	25.0	-	-	-	50.0

「家庭で幼い頃から善悪や決まり事の大切さを教えることが重要だ」についての考えをみると、『そう思う (計)』(「強くそう思う」と「そう思う」を合わせた割合。以下同様) が 81.8%と『そうは思わない (計)』(「全く思わない」と「そうは思わない」を合わせた割合。以下同様) (1.6%) を大きく上回っており、「どちらとも言えない」が 8.6%となっている。

性別でみると、『そう思う (計)』の割合は男性 82.4%、女性 82.2%とほぼ同ポイントである。

年齢別でみると、『そう思う (計)』は 30～39 歳が 90.2%で最も高くなっている。

【兵庫県人権意識調査との比較】

「強くそう思う」の割合が本町では 29.9%と、県より 10.2 ポイント低くなっているのに対し、「そう思う」の割合が 51.9%と、県より 4.1 ポイント高くなっている。『そう思う (計)』の本町の割合は 81.8%と、県より 6.1 ポイント低い。

④ 学校で、いじめや差別をなくす人権教育を進めれば人権問題は解決する

表 32 (問 27 ④) 学校で、いじめや差別をなくす人権教育を進めれば人権問題は解決する

属性		回答者数	強く そう 思う	そう 思う	え ど ち ら も 言 え な い	い そ う は 思 わ な い	全 く 思 わ な い	無 回 答 等
全 体		882	4.6	25.7	39.7	18.8	2.9	8.2
性 別	男性	386	4.1	25.6	37.6	21.0	4.7	7.0
	女性	478	4.8	25.9	42.5	17.4	1.3	8.2
	答えたくない	8	-	25.0	25.0	12.5	25.0	12.5
	無回答等	10	20.0	20.0	-	10.0	-	50.0
年 齢 別	18～29歳	66	4.5	22.7	39.4	21.2	10.6	1.5
	30～39歳	51	3.9	29.4	43.1	15.7	2.0	5.9
	40～49歳	96	5.2	17.7	42.7	26.0	7.3	1.0
	50～59歳	136	3.7	24.3	50.0	17.6	-	4.4
	60～69歳	186	2.7	27.4	39.8	20.4	2.7	7.0
	70～79歳	213	5.6	28.6	37.1	18.3	1.4	8.9
	80歳以上	126	6.3	27.0	31.0	13.5	2.4	19.8
	無回答等	8	12.5	12.5	12.5	12.5	-	50.0

「学校で、いじめや差別をなくす人権教育を進めれば人権問題は解決する」についての考えをみると、『『そう思う (計)』(「強くそう思う」と「そう思う」を合わせた割合。以下同様) が 30.3%と『『そうは思わない (計)』(「全く思わない」と「そうは思わない」を合わせた割合。以下同様) (21.7%) を上回っているが、「どちらとも言えない」が 39.7%で最も高くなっている。

性別でみると、『『そう思う (計)』の割合は男性 29.7%、女性 30.7%とほぼ差異はない。

年齢別でみると、『『そう思う (計)』は 70～79 歳が 34.2%で最も高く、次いで 30～39 歳と 80 歳以上 (33.3%) が同ポイントの順となっている。一方、18～29 歳が 27.2%で最も低く、次いで 40～49 歳が 22.9%と低い。

【兵庫県人権意識調査との比較】

『『そう思う (計)』の割合が本町では 30.3%と、県より 1.1 ポイント高いが、ほぼ同ポイントである。一方『『そうは思わない (計)』の割合は、本町では 21.7%と県より 4.5 ポイント低い。

⑤個人の権利より、地域のみんなの利益が優先されるべきだ

表 33 (問 27 ⑤) 個人の権利より、地域のみんなの利益が優先されるべきだ

属性		回答者数	強く そう 思う	そう 思う	え ど ち ら と も 言 え な い	い そ う は 思 わ な い	全 く 思 わ な い	無 回 答 等
全 体		882	1.4	15.5	45.8	25.4	3.6	8.3
性 別	男性	386	1.6	17.9	45.6	23.6	4.7	6.7
	女性	478	1.0	13.6	46.4	27.2	2.9	8.8
	答えたくない	8	-	25.0	37.5	25.0	-	12.5
	無回答等	10	10.0	10.0	30.0	10.0	-	40.0
年 齢 別	18～29歳	66	3.0	7.6	63.6	16.7	7.6	1.5
	30～39歳	51	2.0	13.7	51.0	25.5	2.0	5.9
	40～49歳	96	1.0	13.5	49.0	29.2	6.3	1.0
	50～59歳	136	1.5	11.0	51.5	27.2	3.7	5.1
	60～69歳	186	1.1	14.0	46.8	26.9	4.3	7.0
	70～79歳	213	1.4	20.2	37.6	27.7	2.3	10.8
	80歳以上	126	0.8	21.4	40.5	19.0	1.6	16.7
	無回答等	8	-	12.5	12.5	25.0	-	50.0

「個人の権利より、地域のみんなの利益が優先されるべきだ」についての考えをみると、『そうは思わない (計)』(「全く思わない」と「そうは思わない」を合わせた割合。以下同様) が 29.0%と『そう思う (計)』(「強くそう思う」と「そう思う」を合わせた割合。以下同様) (16.9%) を上回っているが、「どちらとも言えない」が 45.8%で最も高くなっている。

性別でみると、『そう思う (計)』の割合は男性が女性よりも 4.9 ポイント高くなっているものの、全体的な傾向としては大きな差異はない。

年齢別でみると、『そう思う (計)』は 80 歳以上が 22.2%で最も高く、次いで 70～79 歳 (21.6%) の順で、18～29 歳の 10.6%が最も低い。

【兵庫県人権意識調査との比較】

『そう思う (計)』の割合が本町では 16.9%と、県より 3.6 ポイント高く、一方『そうは思わない (計)』の割合は、本町では 29.0%と県より 1.3 ポイント低い。また、「どちらとも言えない」が本町では、45.8%と県より 5.8 ポイント低い。

⑥ みんなが、思いやりや優しさを持てば人権問題は解決する

表 34 (問 27 ⑥) みんなが、思いやりや優しさを持てば人権問題は解決する

属性		回答者数	強く そう 思う	そう 思う	えど ち い ら と も 言	い そ う は 思 わ な	全 く 思 わ な い	無 回 答 等
全 体		882	13.0	47.2	22.4	8.4	1.6	7.4
性 別	男性	386	12.7	44.6	24.6	9.1	2.8	6.2
	女性	478	13.6	49.4	20.9	7.9	0.6	7.5
	答えたくない	8	-	37.5	37.5	12.5	-	12.5
	無回答等	10	10.0	50.0	-	-	-	40.0
年 齢 別	18～29歳	66	19.7	36.4	27.3	10.6	4.5	1.5
	30～39歳	51	19.6	39.2	21.6	9.8	-	9.8
	40～49歳	96	15.6	39.6	29.2	8.3	5.2	2.1
	50～59歳	136	11.8	52.2	25.7	7.4	-	2.9
	60～69歳	186	12.9	50.0	19.4	9.7	2.7	5.4
	70～79歳	213	10.3	50.2	20.2	9.9	-	9.4
	80歳以上	126	11.1	47.6	21.4	4.0	0.8	15.1
	無回答等	8	12.5	37.5	-	-	-	50.0

「みんなが、思いやりや優しさを持てば人権問題は解決する」についての考えをみると、『そう思う (計)』(「強くそう思う」と「そう思う」を合わせた割合。以下同様)が60.2%と『そうは思わない (計)』(「全く思わない」と「そうは思わない」を合わせた割合。以下同様)(10.0%)を大きく上回っており、「どちらとも言えない」が22.4%となっている。

性別でみると、『そう思う (計)』の割合は女性が63.0%と男性(57.3%)よりも5.7ポイント高くなっている。一方、『そうは思わない (計)』の割合は男性が11.9%と女性(8.5%)よりも3.4ポイント高いが大きな差異はない。

年齢別でみると、『そう思う (計)』は50～59歳が64.0%で最も高く、次いで60～69歳(62.9%)、70～79歳(60.5%)の順で、40～49歳が55.2%で最も低い。

【兵庫県人権意識調査との比較】

いずれの選択肢も県との差が3ポイント以内に収まっており、ほぼ同傾向であり大きな差異はみられない。

⑦ 自分の権利ばかり主張して、他人の権利を尊重しない人が増えている

表 35 (問 27 ⑦) 自分の権利ばかり主張して、他人の権利を尊重しない人が増えている

属性	回答者数	強く そう 思う	そう 思う	え ど ち ら も 言 え な い	い そ う は 思 わ な い	全 く 思 わ な い	無 回 答 等	
全 体	882	10.4	42.2	30.3	9.2	0.3	7.6	
性 別	男性	386	12.2	42.2	28.5	9.6	0.5	7.0
	女性	478	9.0	42.5	32.2	8.8	0.2	7.3
	答えたくない	8	12.5	37.5	37.5	-	-	12.5
	無回答等	10	10.0	30.0	-	20.0	-	40.0
年 齢 別	18～29歳	66	13.6	30.3	40.9	13.6	-	1.5
	30～39歳	51	21.6	35.3	33.3	3.9	-	5.9
	40～49歳	96	14.6	50.0	27.1	7.3	-	1.0
	50～59歳	136	9.6	47.8	34.6	4.4	-	3.7
	60～69歳	186	9.1	47.8	27.4	9.1	0.5	5.9
	70～79歳	213	10.3	39.9	28.2	11.3	0.5	9.9
	80歳以上	126	4.8	35.7	31.0	11.9	-	16.7
	無回答等	8	-	25.0	-	12.5	12.5	50.0

「自分の権利ばかり主張して、他人の権利を尊重しない人が増えている」についての考えをみると、『そう思う (計)』(「強くそう思う」と「そう思う」を合わせた割合。以下同様) が 52.6%と『そうは思わない (計)』(「全く思わない」と「そうは思わない」を合わせた割合。以下同様) (9.5%) を上回っており、「どちらとも言えない」が 30.3%となっている。

性別でみると、『そう思う (計)』は男性が 54.4%と女性 (51.5%) よりも 2.9 ポイント高くなっているが大きな差異はない。

年齢別でみると、『そう思う (計)』は 40～49 歳が 64.6%で最も高く、次いで 50～59 歳 (57.4%) の順となっており、80 歳以上が 40.5%で最も低い。

【兵庫県人権意識調査との比較】

『そう思う (計)』の割合が本町では 52.6%と、県より 8.9 ポイント低くなっているのに対し、『そうは思わない (計)』「どちらとも言えない」については、差が 3 ポイント以内に収まっており、ほぼ同傾向であり大きな差異はみられない。

⑧ 部落差別（同和問題）は、口に出さないでそっとしていれば自然になくなる

表 36 （問 27⑧）部落差別（同和問題）は、口に出さないでそっとしていれば自然になくなる

属性	回答者数	強く そう 思う	そう 思う	え ど ち ら と も 言 え な い	い そ う は 思 わ な い	全 く 思 わ な い	無 回 答 等	
全 体	882	4.4	19.3	30.2	30.6	7.9	7.6	
性 別	男性	386	4.1	16.6	30.3	32.1	9.8	7.0
	女性	478	4.4	21.5	30.1	30.3	6.3	7.3
	答えたくない	8	25.0	12.5	37.5	12.5	-	12.5
	無回答等	10	-	20.0	20.0	-	20.0	40.0
年 齢 別	18～29歳	66	7.6	19.7	36.4	24.2	10.6	1.5
	30～39歳	51	7.8	13.7	35.3	31.4	5.9	5.9
	40～49歳	96	6.3	22.9	33.3	24.0	11.5	2.1
	50～59歳	136	3.7	18.4	28.7	36.0	8.8	4.4
	60～69歳	186	5.4	11.8	32.3	34.4	11.3	4.8
	70～79歳	213	1.9	21.6	29.1	32.9	4.7	9.9
	80歳以上	126	4.0	27.0	23.8	25.4	3.2	16.7
	無回答等	8	-	12.5	12.5	-	25.0	50.0

「部落差別（同和問題）は、口に出さないでそっとしていれば自然になくなる」についての考えをみると、『そうは思わない（計）』（「全く思わない」と「そうは思わない」を合わせた割合。以下同様）が 38.5%と『そう思う（計）』（「強くそう思う」と「そう思う」を合わせた割合。以下同様）（23.7%）を上回っており、「どちらともいえない」が 30.2%となっている。

性別でみると、『そう思う（計）』は男性が 20.7%と女性（25.9%）よりも 5.2 ポイント低くなっている。一方、『そうは思わない（計）』の割合は、男性が 41.9%と女性（36.6%）よりも 5.3 ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『そう思う（計）』は 80 歳以上が 31.0%で最も高く、次いで 40～49 歳（29.2%）の順となっており、60～69 歳が 17.2%で最も低い。対して、『そうは思わない（計）』は 60～69 歳が 45.7%で最も高く、次いで 50～59 歳（44.8%）の順となっており、80 歳以上が 28.6%で最も低い。

【兵庫県人権意識調査との比較】

「どちらともいえない」の割合が本町では 30.2%と、県より 7.3 ポイント低くなっている。それ以外の項目については、差が 4 ポイント以内に収まっており、ほぼ同傾向であり大きな差異はみられない。

⑨ 外国人も日本人と同じように人権は守られるべきだ

表 37 (問 27 ⑨) 外国人も日本人と同じように人権は守られるべきだ

属性		回答者数	強く そう 思う	そう 思う	えど ち い ら と も 言	い そ う は 思 わ な	全 く 思 わ な い	無 回 答 等
全 体		882	15.6	62.7	13.4	0.5	0.3	7.5
性 別	男性	386	14.5	61.7	15.8	0.5	0.8	6.7
	女性	478	16.5	64.0	11.7	0.4	-	7.3
	答えたくない	8	37.5	37.5	12.5	-	-	12.5
	無回答等	10	-	60.0	-	-	-	40.0
年 齢 別	18～29歳	66	37.9	43.9	16.7	-	-	1.5
	30～39歳	51	25.5	51.0	17.6	-	-	5.9
	40～49歳	96	25.0	55.2	18.8	-	-	1.0
	50～59歳	136	22.1	61.8	12.5	-	-	3.7
	60～69歳	186	14.5	70.4	8.6	0.5	1.1	4.8
	70～79歳	213	6.1	69.0	14.1	0.9	0.5	9.4
	80歳以上	126	4.8	63.5	12.7	0.8	-	18.3
	無回答等	8	-	37.5	12.5	-	-	50.0

「外国人も日本人と同じように人権は守られるべきだ」についての考えをみると、『そう思う (計)』(「強くそう思う」と「そう思う」を合わせた割合。以下同様)が78.3%と『そうは思わない (計)』(「全く思わない」と「そうは思わない」を合わせた割合。以下同様)(0.8%)を大きく上回っている。また、「どちらとも言えない」が13.4%となっている。

性別でみると、『そう思う (計)』の割合は、女性が男性よりもやや高くなっているが、すべての選択肢の差は5ポイント以内に収まっており、ほぼ同傾向であり大きな差異はみられない。

年齢別でみると、『そう思う (計)』は60～69歳が84.9%で最も高く、次いで50～59歳(83.9%)、18～29歳(81.8%)の順で、80歳以上が68.3%で最も低い。

【兵庫県人権意識調査との比較】

いずれの選択肢も県との差が4ポイント以内に収まっており、ほぼ同傾向であり大きな差異はみられない。

⑩ 本人通知制度は人権を守る手段として有効で登録を啓発すべきだ

表 38 (問 27 ⑩) 戸籍謄本等の不正取得を抑止するための本人通知制度は人権を守る手段として有効で、登録を啓発すべきだ

属性		回答者数	強く そう 思う	そう 思う	え ど ち ら も 言 え な い	い そ う は 思 わ な い	全 く 思 わ な い	無 回 答 等
全 体		882	6.8	41.7	37.5	2.7	1.0	10.2
性 別	男性	386	8.3	41.2	38.1	3.1	1.0	8.3
	女性	478	5.6	42.3	37.7	2.5	1.0	10.9
	答えたくない	8	-	37.5	37.5	-	-	25.0
	無回答等	10	10.0	40.0	10.0	-	-	40.0
年 齢 別	18～29歳	66	7.6	27.3	63.6	-	-	1.5
	30～39歳	51	7.8	37.3	45.1	3.9	-	5.9
	40～49歳	96	3.1	44.8	46.9	1.0	1.0	3.1
	50～59歳	136	5.9	41.9	44.1	1.5	0.7	5.9
	60～69歳	186	10.8	46.8	30.1	2.2	1.6	8.6
	70～79歳	213	4.2	42.3	34.7	4.2	1.4	13.1
	80歳以上	126	7.9	41.3	24.6	4.8	-	21.4
	無回答等	8	12.5	25.0	-	-	12.5	50.0

「本人通知制度は人権を守る手段として有効で登録を啓発すべきだ」についての考えをみると、『そう思う (計)』(「強くそう思う」と「そう思う」を合わせた割合。以下同様) が 48.5%と『そうは思わない (計)』(「全く思わない」と「そうは思わない」を合わせた割合。以下同様) (3.7%) を上回っており、「どちらとも言えない」が 37.5%となっている。

性別でみると、『そう思う (計)』『そうは思わない (計)』『どちらとも言えない』の差がそれぞれ 2 ポイント以内に収まっており、差異はない。

年齢別でみると、『そう思う (計)』は 60～69 歳が 57.6%で最も高く、次いで 80 歳以上 (49.2%) の順となっている。

(2) 人権尊重の考え方に強い影響を与えたもの

表 39 (問 28) 人権尊重の考えについて強く影響を受けたと思われるものは
(○はいくつでも)

属性		回答者数	幼児期の教育	小学校での教育	中学校での教育	高等学校での教育	専門大学・短大の教育	学校やPTA主催の研修会、講演会	職場での研修	各集落の住民学習会
全体		882	9.5	39.3	28.9	10.8	3.1	11.7	15.1	23.4
性別	男性	386	8.3	38.3	28.5	12.4	2.8	8.5	16.6	24.1
	女性	478	10.3	40.8	29.5	9.8	3.3	14.2	14.0	23.2
	答えたくない	8	25.0	37.5	25.0	-	-	25.0	12.5	-
	無回答等	10	10.0	10.0	20.0	-	-	-	10.0	20.0
年齢別	18～29歳	66	10.6	56.1	37.9	15.2	4.5	4.5	1.5	-
	30～39歳	51	7.8	60.8	43.1	25.5	9.8	2.0	9.8	7.8
	40～49歳	96	6.3	65.6	35.4	13.5	7.3	10.4	12.5	7.3
	50～59歳	136	11.8	61.8	28.7	9.6	3.7	12.5	13.2	15.4
	60～69歳	186	11.8	32.8	33.9	11.3	2.2	16.7	21.5	29.6
	70～79歳	213	7.5	22.1	22.5	8.5	1.4	13.6	16.9	34.7
	80歳以上	126	8.7	18.3	17.5	5.6	-	9.5	15.9	34.1
	無回答等	8	25.0	12.5	25.0	-	-	-	12.5	25.0

属性		回答者数	町や研究会主催の講演会	家族でのふれあい	地域でのふれあい	職場でのふれあい	友人とのふれあい	関心がない	無回答等	
全体		882	11.2	10.3	20.9	18.1	10.5	17.6	3.6	8.5
性別	男性	386	11.9	10.1	14.2	17.6	10.9	15.0	4.7	8.0
	女性	478	10.7	10.7	26.6	18.8	10.3	19.7	2.7	7.9
	答えたくない	8	-	-	25.0	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5
	無回答等	10	20.0	10.0	-	10.0	-	20.0	-	50.0
年齢別	18～29歳	66	1.5	3.0	28.8	9.1	7.6	13.6	6.1	4.5
	30～39歳	51	3.9	2.0	29.4	13.7	7.8	31.4	3.9	3.9
	40～49歳	96	1.0	3.1	20.8	19.8	14.6	16.7	2.1	1.0
	50～59歳	136	7.4	8.8	27.2	11.8	13.2	20.6	3.7	5.1
	60～69歳	186	13.4	14.5	23.1	19.9	10.8	19.4	1.6	6.5
	70～79歳	213	17.4	12.2	17.8	24.4	9.9	17.8	3.8	11.7
	80歳以上	126	17.5	15.9	8.7	17.5	8.7	8.7	6.3	16.7
	無回答等	8	12.5	-	12.5	12.5	-	12.5	-	50.0

人権尊重の考え方に強い影響を与えたものをみると、「小学校での人権教育」が39.3%で最も高く、次いで「中学校での人権教育」(28.9%)、「各集落の住民学習会」(23.4%)、「家族でのふれあい」(20.9%)、「地域でのふれあい」(18.1%)、「友人とのふれあい」(17.6%)の順となっている。

性別で見ると、「家族でのふれあい」の割合は女性が男性よりも12.4ポイント高くなっている。これに対し、「学校やPTA主催の研修会、講演会」の割合は男性が

女性よりも5.7ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「小学校での人権教育」の割合は40～49歳が65.6%で最も高く、次いで50～59歳（61.8%）、30～39歳（60.8%）の順となっており、「中学校での人権教育」を含めて、若年から中年層に高い傾向にある。また、「各集落の住民学習会」は高年層の方が高い傾向にある。

(3) 各種啓発事業や行事への参加について

① 人権啓発協議会の総会

表 40 (問 29 ①) 人権啓発協議会の総会への参加

属性		回答者数	が参加したことがある	は参加していない	知らない	無回答等
全体		882	11.1	27.9	40.8	20.2
性別	男性	386	14.0	27.5	39.1	19.4
	女性	478	9.2	28.7	42.3	19.9
	答えたくない	8	-	25.0	50.0	25.0
	無回答等	10	-	10.0	30.0	60.0
年齢別	18～29歳	66	-	12.1	80.3	7.6
	30～39歳	51	-	27.5	62.7	9.8
	40～49歳	96	5.2	25.0	61.5	8.3
	50～59歳	136	18.4	23.5	42.6	15.4
	60～69歳	186	19.4	37.1	24.7	18.8
	70～79歳	213	10.8	33.3	30.0	25.8
	80歳以上	126	7.1	21.4	36.5	34.9
	無回答等	8	-	12.5	25.0	62.5

人権啓発協議会の総会への参加についてみると、「知らない」が40.8%で最も高く、次いで「知っているが参加したことはない」(27.9%)、「無回答等」(20.2%)、「参加したことがある」(11.1%)の順となっている。

性別でみると、「参加したことがある」の割合は男性が女性よりも4.8ポイント高くなっているが、他の項目を含めて大きな差異はない。

年齢別でみると、「参加したことがある」の割合は高年層が比較的高くなっているのに対し、「知らない」の割合は若年層が高くなっている。

② 8月多可町民の集い

8月の多可町民の集いへの参加についてみると、「知らない」が41.3%で最も高く、次いで「知っているが参加したことはない」(28.0%)、「無回答等」(20.7%)、「参加したことがある」(10.0%)の順となっている。

性別でみると、すべての項目で差異はない。

年齢別でみると、「参加したことがある」の割合は高年層が比較的高くなっているのに対し、「知らない」の割合は若年層が高くなっている。

表 41 (問 29 ②) 8月多可町民の集いへの参加

属性		回答者数	が参過 あ加去 るし3 た年 こ間 とで	は参知 ない加 いして たいこ るが	知 ら な い	無 回 答 等
全 体		882	10.0	28.0	41.3	20.7
性 別	男性	386	11.1	28.2	41.2	19.4
	女性	478	9.2	28.2	41.6	20.9
	答えたくない	8	-	25.0	50.0	25.0
	無回答等	10	10.0	10.0	20.0	60.0
年 齢 別	18～29歳	66	-	16.7	75.8	7.6
	30～39歳	51	3.9	25.5	60.8	9.8
	40～49歳	96	7.3	20.8	63.5	8.3
	50～59歳	136	14.7	27.9	39.7	17.6
	60～69歳	186	14.0	37.6	27.4	21.0
	70～79歳	213	11.3	31.9	31.5	25.4
	80歳以上	126	6.3	20.6	38.1	34.9
	無回答等	8	12.5	12.5	25.0	50.0

③ 12月多可町民の集い

表 42 (問 29 ③) 12月多可町民の集いへの参加

属性		回答者数	が参過 あ加去 るし3 た年 こ間 とで	は参知 ない加 いして たいこ るが	知 ら な い	無 回 答 等
全 体		882	8.0	27.7	41.4	22.9
性 別	男性	386	10.1	26.9	41.7	21.2
	女性	478	6.7	28.7	41.4	23.2
	答えたくない	8	-	25.0	50.0	25.0
	無回答等	10	-	10.0	20.0	70.0
年 齢 別	18～29歳	66	-	16.7	75.8	7.6
	30～39歳	51	2.0	27.5	60.8	9.8
	40～49歳	96	6.3	22.9	62.5	8.3
	50～59歳	136	10.3	31.6	39.0	19.1
	60～69歳	186	13.4	35.5	28.0	23.1
	70～79歳	213	9.4	30.0	32.4	28.2
	80歳以上	126	4.0	18.3	38.1	39.7
	無回答等	8	-	12.5	25.0	62.5

12月の多可町民の集いへの参加についてみると、「知らない」が41.4%で最も高く、次いで「知っているが参加したことはない」(27.7%)、「無回答等」(22.9%)、「参加したことがある」(8.0%)の順となっている。

性別でみると、すべての項目で差異はない。

年齢別でみると、「参加したことがある」の割合は高年層が比較的高くなっているのに対し、「知らない」の割合は若年層が高くなっている。

④ 各集落の住民学習会

表 43 (問 29 ④) 各集落の住民学習会への参加

属性		回答者数	が参過 あ加去 るし3 た年 こ間 とで	は参知 な加つ いして たい こる とが	知 ら な い	無 回 答 等
全 体		882	35.1	29.1	21.8	13.9
性 別	男性	386	41.2	25.1	21.5	12.2
	女性	478	30.1	33.3	22.0	14.6
	答えたくない	8	25.0	12.5	50.0	12.5
	無回答等	10	50.0	-	-	50.0
年 齢 別	18～29歳	66	1.5	15.2	75.8	7.6
	30～39歳	51	5.9	39.2	45.1	9.8
	40～49歳	96	22.9	37.5	34.4	5.2
	50～59歳	136	40.4	33.1	19.1	7.4
	60～69歳	186	57.5	22.6	8.1	11.8
	70～79歳	213	43.2	30.0	9.4	17.4
	80歳以上	126	21.4	31.7	19.0	27.8
	無回答等	8	37.5	-	12.5	50.0

各集落の住民学習会への参加についてみると、「参加したことがある」が 35.1% で最も高く、次いで「知っているが参加したことはない」(29.1%)、「知らない」(21.8%)、「無回答等」(13.9%) の順となっている。

性別でみると、「参加したことがある」の割合は男性が女性よりも 11.1 ポイント高くなっている。これに対し、「知っているが参加したことはない」の割合は女性が男性よりも 8.2 ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「参加したことがある」の割合は高年層が比較的高くなっているのに対し、「知らない」の割合は若年層が比較的高くなっている。

⑤ 多可町隣保館講座への参加

多可町隣保館講座への参加についてみると、「知らない」が 43.8% で最も高く、次いで「知っているが参加したことはない」(30.2%)、「無回答等」(21.5%)、「参加したことがある」(4.5%) の順となっている。

性別でみると、すべての項目で差異はない。

年齢別でみると、「参加したことがある」は、高年層で見受けられる。また、「知らない」の割合は若年層が比較的高くなっている。

表 44 (問 29 ⑤) 多可町隣保館講座への参加

属性		回答者数	が参加した 3年間で	は参加したい ところが	知らない	無回答等
全体		882	4.5	30.2	43.8	21.5
性別	男性	386	5.4	29.0	45.1	20.5
	女性	478	3.8	31.6	43.3	21.3
	答えたくない	8	12.5	25.0	37.5	25.0
	無回答等	10	-	10.0	20.0	70.0
年齢別	18～29歳	66	-	12.1	80.3	7.6
	30～39歳	51	-	25.5	64.7	9.8
	40～49歳	96	3.1	32.3	57.3	7.3
	50～59歳	136	6.6	33.1	43.4	16.9
	60～69歳	186	7.5	36.6	33.9	22.0
	70～79歳	213	5.6	34.3	33.3	26.8
	80歳以上	126	1.6	21.4	39.7	37.3
	無回答等	8	-	12.5	25.0	62.5

⑥ 人権標語への応募

表 45 (問 29 ⑥) 人権標語への応募

属性		回答者数	が応募した 3年間で	は応募したい ところが	知らない	無回答等
全体		882	2.8	40.6	33.9	22.7
性別	男性	386	2.3	39.4	36.5	21.8
	女性	478	3.3	42.1	32.2	22.4
	答えたくない	8	-	37.5	37.5	25.0
	無回答等	10	-	20.0	10.0	70.0
年齢別	18～29歳	66	1.5	24.2	63.6	10.6
	30～39歳	51	3.9	41.2	45.1	9.8
	40～49歳	96	6.3	39.6	45.8	8.3
	50～59歳	136	4.4	47.1	31.6	16.9
	60～69歳	186	2.2	52.2	22.6	23.1
	70～79歳	213	2.8	41.3	28.2	27.7
	80歳以上	126	-	25.4	34.9	39.7
	無回答等	8	-	25.0	12.5	62.5

人権標語への応募についてみると、「知っているが応募したことはない」が40.6%で最も高く、次いで「知らない」(33.9%)、「無回答等」(22.7%)、「応募したことがある」(2.8%)の順となっている。

性別でみると、「知らない」の割合は男性36.5%と女性(32.2%)と4.3ポイント差があるが、他の項目を含め大きな差異はない。

年齢別でみると、「応募したことがある」全年齢層で見受けられる。また、「知らない」の割合は若年層が比較的高くなっている。

(4) 効果的な人権啓発活動として重点的に取り組むべきもの

表 46 (問 30) 人権啓発活動として重点的に取り組むべきもの (〇はいくつでも)

属性		回答者数	学校教育での人権	町かたの広報紙・たかテレビ	人権などの文募・集標	啓発物など・ポ	ネット活用やメール	講演会や研修会・学習会	各集落の住民学習会	相互理解を深める交流会
全体		882	59.6	28.8	9.0	3.7	6.8	20.5	23.1	16.9
性別	男性	386	60.1	30.3	8.5	3.1	7.8	19.7	23.6	16.8
	女性	478	59.8	27.6	9.2	3.8	6.1	21.1	22.8	16.9
	答えたくない	8	62.5	37.5	25.0	25.0	12.5	25.0	25.0	25.0
	無回答等	10	30.0	20.0	-	10.0	-	20.0	20.0	10.0
年齢別	18～29歳	66	77.3	25.8	10.6	12.1	18.2	13.6	1.5	10.6
	30～39歳	51	72.5	25.5	11.8	-	7.8	13.7	19.6	25.5
	40～49歳	96	70.8	24.0	5.2	4.2	14.6	19.8	12.5	16.7
	50～59歳	136	64.0	30.9	5.1	2.9	9.6	21.3	27.2	13.2
	60～69歳	186	58.6	30.1	7.5	4.8	3.8	28.5	29.6	20.4
	70～79歳	213	53.5	30.0	16.0	2.3	4.7	19.7	27.7	17.4
	80歳以上	126	46.0	30.2	4.8	2.4	-	16.7	22.2	15.1
	無回答等	8	25.0	12.5	-	-	-	12.5	25.0	12.5

属性		回答者数	疑似が体験な研ど修の	その他	無回答等
全体		882	16.1	3.6	11.7
性別	男性	386	11.9	3.6	10.6
	女性	478	19.2	3.6	12.1
	答えたくない	8	37.5	12.5	-
	無回答等	10	10.0	-	40.0
年齢別	18～29歳	66	19.7	1.5	4.5
	30～39歳	51	21.6	3.9	3.9
	40～49歳	96	18.8	6.3	7.3
	50～59歳	136	18.4	2.2	7.4
	60～69歳	186	16.7	3.8	10.8
	70～79歳	213	15.5	2.8	16.0
	80歳以上	126	8.7	4.0	19.0
	無回答等	8	-	25.0	37.5

効果的な人権啓発活動として重点的に取り組むべきものをみると、「学校での人権教育」が 59.6%で最も高く、次いで「町の広報紙・たかテレビ」(28.8%)、「各集落の住民学習会」(23.1%)、「講演会や研修会・学習会」(20.5%)、「相互理解を深

める交流会」(16.9%)、「障がいなどの疑似体験研修」(16.1%)の順となっている。

性別で見ると、「障がいなどの疑似体験研修」の割合は、女性が19.2%と男性(11.9%)よりも7.3ポイント高い。これ以外の選択肢の差は3ポイント以内に収まっており、ほぼ同傾向であり大きな差異はみられない。

年齢別で見ると、「学校での人権教育」の割合は18～29歳が77.3%で最も高く、次いで30～39歳(72.5%)、40～49歳(70.8%)の順となっており、80歳以上が46.0%で最も低い。また、「各集落の住民学習会」の割合は60～69歳が29.6%で最も高く、次いで70～79歳(27.7%)、50～59歳(27.2%)の順となっており、18～29歳が1.5%で最も低い。

多可町民の人権に関する意識調査 結果報告書
【本 編】

発行：令和3年3月 兵庫県多可町
編集：多可町役場 生涯学習課 人権啓発推進室
〒679-1115 兵庫県多可郡多可町中区天田 340-1
TEL・FAX 0795-32-1389